

『絵本&活動カード』
【自立活動を主とする教育課程】
小学部

小学部1年 自立活動を主とする教育課程 「ぞうくんのさんぽ」

絵本
解説

教材

ねらい

- ・読み聞かせでは、展開に期待したり、登場人物の変化に気が付いたりすることができる。
- ・劇遊びでは、それぞれの方法で言葉を意識して、セリフを教員に伝えることができる。



作・絵: なかのひろたか
出版社: 1977年 福音館

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
聞く(6~8)、話す(6~8)
読む(1~12)、書く(4~6)
数と計算(1~8)
量と測定(1~8)
図形(1~8)

『学習指導要領の内容』
国語: 小一段階
○知技「ア(ア)・イ(エ)」
○思判表「Aア・Cア」
数学: 小一段階
○知技「Aア(ア)㊦」
○思判表「Aア(ア)㊦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	・活動は視覚提示を行う。
展開①	○「ぞうくんのさんぽ」の読み聞かせを聞く。 ○物語の登場人物や展開を振り返る。 ・個別学習	・動物サイコロを使って、個の課題に合わせて質問しながら、物語の振り返りをする。
展開②	○劇遊びをする。 ・自分の役を知る。 ・劇のやり取りの手本を見る。 ・絵本の世界に出発する。 →一度廊下に出て、背景を変えた教室に戻ってくる。 ・劇遊びで、(教員)「一緒に散歩に行こう。」(児童)「いいよ。」を伝える。	・役を意識できるように毎時同じ動物になる。 ・①絵本の世界に出発する時、②劇遊びで池に落ちる時の2回、場面転換として一度廊下に出ることで、場面の違いに気付けるようにする。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動の確認 ・良かったところのフィードバック ○挨拶	・本時の活動を思い出せるように、実際に使った教材で振り返る。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・絵本の世界観を感じられるように、背景に絵本と同じ木を設置。
- ・絵本の世界に出発するときは、緑の布カーテンをくぐることで森に入ることを感じられるようにする。
- ・池に落ちる場面では、水色のスズランテープのカーテンをくぐることで池に落ちたことを感じられるようにする。

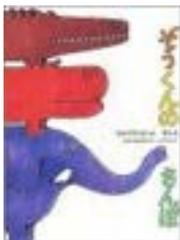
小学部1年 自立活動を主とする教育課程「ぞうくんのさんぽ」

絵本
解説

ねらい

- ・登場する4匹の動物に興味をもち、自分が担当する動物が分かる。
- ・「ぞうくん、こんにちは」や「乗せて」と台詞を声を出したり、口を動かしたりして伝える。

教材



(作:なかのひろたか
1977年4月 福音館書店)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

- 聞く(4~18)、話す(4~24)
- 読む(4~36)、書く(2~12)
- 数と計算(2~18)
- 量と測定(2~12)
- 図形(2~24)

『学習指導要領の内容』

- 国語: 小一段階
 - 知技「アア(ア)、アア0、アイ(エ)」
 - 思判表「ア、アイ、ア、ア、ア」
- 数学: 小一段階
 - 知技「ア(ア)㊦」
 - 思判表「アイ(イ)㊦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○挨拶 ○今日の活動の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動は視覚提示で行う。
展開①	<ul style="list-style-type: none"> ○「ことばあそびのうた」 ・「さ」～「ほ」の文字を1～2文字ずつ、聞く、見る、なぞる、発声する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・見やすいようにタブレット端末や文字カードを見ながら行う。
展開②	<ul style="list-style-type: none"> ○絵本「ぞうくんのさんぽ」を見る、聞く。 ○配役を決めて、担当する動物の帽子を被る。 ・教職員の手本を見て、台詞や動きを確認する。 ○担当する動物のブロックを順番に前に出て、積む。 ・「ぞうくんこんにちは」と「乗せて」の台詞をぞうくん役のMTに伝える。 ・台詞の後にブロックを積む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ぞうくんのさんぽ」は、テレビ画面に映して、全て通して読む。 ・活動は、2つのグループに分かれる。3匹の動物の描かれたカードの中から1枚を引き、その動物を担当する。 ・手や口の動きに合わせて、教職員と台詞を伝えることができるようにする。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の活動を振り返る ・良かったところのフィードバック ○挨拶 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を思い出せるように、実際に使った教材で振り返る。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・担当する動物の帽子とブロックを配る。
- ・帽子を被った姿を鏡で確認し、担当する動物の意識を深める。
- ・順番になったら、前に出て、ブロックを積んでいく。
- ・ブロックは、積みやすいように高さや向きをMTが調整する。
- ・池に落ちる場面では、スズランテープを当てながら、レインスティックの音を同時に鳴らす。

小学部1年 自立活動を主とする教育課程「ぞうくんのさんぽ」

絵本
解説

- ねらい・教職員からの話し掛けに注目したり、応じたりする。
 ・具体物に気付いて、目で追ったり、教職員と一緒に手指を使って操作したりする。
 ・量の大きさを表す用語に注目し、感じたり表現したりする。

教材



(さく・え なかの ひろたか)
1968年 福音館書店
【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
 聞く(1~18)、話す(1~8)
 読む(1~8)、書く(1~12)
 数と計算(1~8)
 量と測定(1~8)
 図形(1~8)

『学習指導要領の内容』

- 国語: 小一段階
 ○知技「ア(アイ)・イ(エ)」
 ○思判表「Aアイ・Cアエ」
 算数: 小一段階
 ○知技「Aア(ア)㊦」「D(ア)㊦」
 ○思判表「Aア(イ)㊦」「Dア(イ)㊦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○手遊び「はじまるよ♪」、名前呼び	・全盲の児童が環境把握できるように、教員の名前も呼ぶ。
展開①	○読み聞かせ ○ぞうくんとおともだちになろう ・ぞうくんのパネルを使って、「ぞうくん」「大きい」「重い」等の言葉を操作と併せて確認する。 ・かめくんの模型を使って、「かめくん」「小さい」「軽い」等の言葉を、操作と併せて確認する。 ・ぞうくんパネルの上に、かめくんの模型を乗せ、机の上を一周する。	・全盲の児童は触って分かる絵本を使う。 ・「せんせいとおともだち♪」の要領で歌う。 ・「大きい」や「重い」を感じられるように、児童が自分で操作するように介助する。膝の上に乗せたり、机に打ち付けたりする。
展開②	○ぞうくんとおさんぽにいこう ・ぞうくに扮した教員から「○○さん、さんぽに行こう。」という問い掛けに、自分なりの方法で応える。 ・ぞうくん台車に乗って、廊下を一周する。	・台車に安全に乗せるため、2人体制で移乗する。 ・読み聞かせにでてきた歌を歌って台車をひき、絵本と結び付くようにする。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・大型テレビで読み聞かせをし、絵本の内容を振り返る。 ○挨拶	・全盲の児童は触って分かる絵本を使う。他児童は大型テレビが見やすい位置に移動する。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



・大きくて重いぞうくんのパネルと、小さくて軽いかめくんの模型を対比させる。かめくんの模型に切り込みを入れ、ぞうくんのパネルに乗せられるようにした。



・台車の上にクッションチェアを乗せ、ぞうくんの乗り物を作成し、劇遊びを行った。

小学部1年 自立活動を主とする教育課程「ぞうくんのさんぽ」

- ねらい・教職員からの話し掛けに注目したり、応じたりする。
 ・具体物に気付いて、目で追ったり、教職員と一緒に手指を使って操作したりする。
 ・大きさを表す用語に注目し、感じたことを表現する。

絵本
解説

教材



(さく・え なかの ひろたか)
1968年 福音館書店

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
 聞く(1~18)、話す(1~8)
 読む(1~8)、書く(1~12)
 数と計算(1~8)
 量と測定(1~8)
 図形(1~8)

『学習指導要領の内容』

国語: 小一段階
 ○知技「ア(アイ)・イ(エ)」
 ○思判表「Aアイ・Cアエ」
 算数: 小一段階
 ○知技「Aア(ア)㊦」「D(ア)㊦」
 ○思判表「Aア(イ)㊦」「Dア(イ)㊦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○手遊び「はじまるよ♪」、名前呼び ○今日の活動の確認	・歌を合図に授業が始まったことを児童に知らせる。
展開①	○読み聞かせ ・散歩の歌を聴いたり、霧吹きで水を感じたりすることで、物語を知る。	・場面展開を感じられるように散歩の歌を歌う。 ・霧吹きで水を感じて物語の場面展開を感じられるようにする。
展開②	○大きい、小さいを知ろう ・ぞうくんとかめくんの箱を使って、「ぞうくん」「大きい」「かめくん」「小さい」等の言葉を操作と併せて確認する。	・「大きい」や「小さい」を児童が感じられるように、児童が自分で操作するように介助する。
児童まとめ	○本時の活動を振り返る ・読み聞かせを通して内容を振り返る。 ○挨拶	・本時の活動を思い出せるように、霧吹きを使用して場面展開を感じて振り返りをする。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・大きいぞうくんの箱と、小さいかめくんの箱を対比させる。(児童の可動域に合わせて箱の大きさを変える。)
- ・大小の箱の比較を極端にし、大きさの違いを身体で感じるようにする。

小学部1年Aグループ 自立活動を主とする教育課程「おべんとうバス」

絵本
解説

教材

ねらい

- ・ペープサートでは、展開に期待して見たり聞いたりし、楽しむことができる。
- ・バスやお弁当箱の色が登場人物によって違うことに気付くことができる。

おべんとうバス



作・絵: 真珠まりこ
出版社: 2006年 ひさかたチャイルド
【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
聞く(6~8)、話す(6~8)
読む(1~12)、書く(4~6)
数と計算(1~8)
量と測定(1~8)
図形(1~8)

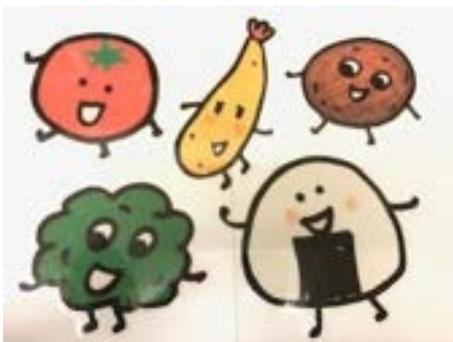
『学習指導要領の内容』
国語: 小一段階
○知技「イ(エ)」
○思判表「Aイ・Cア」
数学: 小一段階
○知技「B」ア(ア)㊦
○思判表「Aイ(イ)㊦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	・活動は視覚提示を行う。
展開①	○ペープサート「おべんとうバス」を見る。 ○物語の登場人物を振り返る。	・登場人物を9つから5つに絞り、分かりやすくする。
展開②	○バス遊びをする。 ・やりたい登場人物を伝える。 ・バス遊びの手本を見る。 課題: 呼名で返事をする。 →バスに乗ったら、廊下を一周して教室に戻ってくる。 ○参加型のペープサートをして振り返りをする。 ・登場人物の色とお弁当の色のマッチングをする。	・登場人物名ではなく児童名で呼名をしてから「○○さんはトマトさん役だね」と確認をし、自分の順番である事を分かりやすくする。 ・登場人物をお弁当箱に入れる場面で、ペープサートを児童に渡し、同じ色の所に教員と一緒に貼ることで色の違いに気付かせる。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動の確認 ・良かったところのフィードバック ○挨拶	・本時の活動を思い出せるように、実際に使った教材で振り返る。

活動の教材と使い方

絵本
解説

活動
解説



- ・ペープサートで読み聞かせをするが、絵本の雰囲気を残して楽しめるように、絵本の絵を拡大したペープサートを使う。



- ・登場人物を減らしたり、バスの窓枠1つに対し、登場人物1人が入るようにしたりして、分かりやすくする。

小学部1年 自立活動を主とする教育課程「おべんとうバス」

絵本
解説

教材

ねらい

- ・読み聞かせて登場人物に気付き、注目することができる。
- ・登場人物の模型を諸感覚を協応させながら確認する。・役になって呼び掛けに応えることができる。

おべんとうバス



(作:真珠まりこ2006年1月
ひさかたチャイルド)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

聞く(4~18)、話す(4~24)
読む(4~36)、書く(2~12)
数と計算(2~18)
量と測定(2~12)
図形(2~24)

『学習指導要領の内容』

国語:小一段階
○知技「ア(イ)、イ(イ)」
○思判表「AI、C7」
数学:小一段階
○知技「AA(ア)②」
○思判表「AA(イ)②」

	学習活動	手だて/留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	・活動は視覚提示を行う。
展開①	○「ことばあそびのうた」 ・「や」の文字をなぞる、発声する。 ・「や」のつく言葉を知る、手を叩きながら発声する。	・文字カードを手元で確認しながら行う。
展開②	○絵本「おべんとうバス」を見る、聞く。 ○自分のお弁当箱を開け、入っている物(食べ物の模型また写真カード)を見たり触ったりし、2択から同じ物を選ぶ。 ○「トマトの〇〇さん」と呼ばれたら返事をし前に出てバスに乗る。→ハンドルを持って移動する。順番に全員つながって教室を出て一周回り戻ってくる。 ・全員で「いただきます。」をして、食べる真似をする。	・食べ物の模型はそれぞれ素材や重さ、音等を変え、違いに気付きやすいようにする。 ・体験活動では自分が呼ばれたことが分かるようイラスト、写真カードを提示する。ハンドルは、食べ物の模型と同じ素材にし、分かりやすくする。
まとめ	○本時の活動を振り返り、挨拶。 ・読み聞かせをし、自分が行ったことを振り返る。	・それぞれ振り返られるよう視線を向けながら読み聞かせする。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・食べ物の模型はそれぞれ素材や重さを変え、鈴を入れて音が鳴る等になっている。
- ・ホワイトボードに大きいバスの絵を貼り、食べ物カードと一緒に児童の写真を提示して、名前を呼ぶ。
- ・バスに乗る時は食べ物の模型と同じ素材のハンドルを持ち分かりやすくする。

小学部1年 自立活動を主とする教育課程「おべんとうバス」

絵本
解説

- ねらい・教職員からの話し掛けに注目したり、応じたりする。
- ・具体物に気付いて、目で追ったり、教職員と一緒に手指を使って操作したりする。
- ・読み聞かせに興味をもち、自分の気持ちを表出しながら楽しむ。

教材



(作・絵 真珠まりこ)
2006年 ひさかたチャイルド
【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

- 聞く(1~18)、話す(1~8)
- 読む(1~8)、書く(1~12)
- 数と計算(1~8)
- 量と測定(1~8)
- 図形(1~8)

『学習指導要領の内容』

- 国語: 小一段階
- 知技「ア(アイ)・イ(エ)」
- 思判表「Aアイ・Cアエ」
- 算数: 小一段階
- 知技「Aイ(ア)㊦」「Bア(ア)㊦」
- 思判表「Aア(イ)㊦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○手遊び「はじまるよ♪」、名前呼び	・全盲の児童が環境把握できるように、教員の名前も呼ぶ。
展開①	○おべんとうバスの歌 ○読み聞かせ ○おにぎりさんたちをバスに乗せよう ・おにぎり、みかん、たまごやき等のおべんとうの具材模型6種類を、おべんとうバスの容器に入れる。 ・おべんとうバスの歌に合わせて各自の机上でバス模型を走らせる。	・全盲の児童は触って分かる絵本を使う。 ・個別におべんとうバスの具材、おべんとうバスの容器を用意する。 ・具材の一つ一つを握る、注目する等して、操作をしながら進める。
展開②	○おべんとうバスに乗ろう(劇遊び) ・おにぎり役、みかん役の2種から配役を選ぶ。黒又はオレンジ色の布をまとう。 ・教員からの「○○役の△△(名前)さん、バスに乗ってください。」という呼び掛けに各々の方法で応える。 ・歌に合わせて教室内を周回する。	・各々の呼名方法をSTと事前に確認しておく。 ・展開①で出てきた歌を使用することで、活動内容が絵本と結び付くようにする。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・大型テレビで読み聞かせをし、絵本の内容を振り返る。 ○挨拶	・全盲の児童は触って分かる絵本を使う。他児童は大型テレビが見やすい位置に移動する。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



・お弁当の具材は扱いやすい木製にした。バスの容器に入れる際に、コロンと音がすることで、全盲の児童も「入れた」ことを確認できるようにした。



・車輪の付いたパネルにバスの大型イラストを貼った。車輪の音がバスをイメージさせ、劇遊びの雰囲気になるようにした。

小学部1Aグループ 自立活動を主とする教育課程「のんたんぶらんこのせて」

絵本
解説

ねらい

- ・ぶらんこ遊びに対し、楽しい、緊張するなどの気持ちを伝える。
- ・ぶらんこ遊びに対し、「もう1回したい」の気持ちを伝える。

教材



(作:キヨノ・サチコ
1975年 備成社)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
聞く(1～8)、話す(1～18)
読む(2～36)、書く(1～12)
数と計算(1～12)
量と測定(1～8)
図形(1～12)

『学習指導要領の内容』
国語:小一段階
○知技「ア(ア)・イ(ア)」
○思判表「アイ・ア及びエ」
数学:小一段階
○知技「Aア(ア)㊦㊧」
○思判表「Aア(イ)㊦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○あいさつ ○今日の活動の確認	・活動は視覚提示を行う
展開①	○「ことばあそびのうた」 ・「あ」「い」など2文字ずつ、聞く、見る、なぞる、の活動を通し文字に触れる。	・文字を捉えやすいように、手元に小さい文字カードを提示する。
展開②	○絵本「ノンタンぶらんこのせて」を読む。 ○ぶらんこに乗り、自分の気持ちを表情や身振りで伝える。 ・楽しそうにぶらんこに乗る教員に気付く。 ・乗りたい気持ちを表現する。 ・「～先生！」と呼び「のせて」と伝える。 ・ぶらんこに10秒乗る。 ○「もう一回乗る？」に対し、言葉、表情、発声で乗りたい有無を伝える。	・導入に「ノンタンといっしょ」を流し期待感を持たせる。 ・画面を通して読み聞かせをする。 ・ブランコが揺れている時、揺れが止まった時、「もう1回する？」と聞かれた時の児童の反応を汲み取り言葉を添える。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・児童の様子を伝える。 ○あいさつ	・本時の活動を思い出せるように、実際に使った教材で振り返る。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・教室にブランコを設置する。
- ・クッションチェアを使い安全にぶらんこに乗れるようにする。一人ずつ乗車するため、空いている椅子にノンタンを置き、ノンタンと乗っている感じを出す。
- ・STがブランコを揺らし、MTが児童の正面に立ち、児童の表情に合わせ言葉を返す。

小学部1年 自立活動を主とする教育課程「ばけばけばけばけたくん」

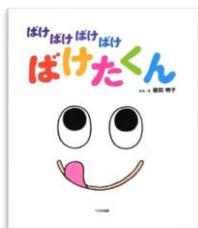
ねらい・ものの有無や変化する様子に、諸感覚を協応させながら気付くことができる。

・登場人物の行動を模倣し、場面の体験活動をする。

・絵本の世界観を楽しみながら、読み聞かせに興味をもったり、絵本に即した活動を積極的に行ったりする。

絵本
解説

教材



(ぶん・え 岩田 明子
2009年 大日本図書)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
聞く(1~18)、話す(1~8)
読む(1~8)、書く(1~12)
数と計算(1~8)
量と測定(1~8)
図形(1~8)

『学習指導要領の内容』

国語: 小一段階

○知技「ア(アイ)・イ(エ)」

○思判表「Aア・Cアエ」

数学: 小一段階

○知技「Aア(ア)㊦」「B(ア)㊦」

○思判表「Aア(イ)㊦」「C(イ)㊦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○手遊び「はじまるよ♪」、名前呼び	・全盲の児童が環境把握できるように、教員の名前も呼ぶ。
展開①	○読み聞かせ ○ばけたくんを探そう ・布に隠れたばけたくんを、布をめくって見付ける。 ・机上有るばけたくんを、触って見付ける。 ・「ばけたくんとおともだち♪」を歌う。	・全盲の児童は触って分かるパネルを使う。 ・「せんせいとおともだち♪」の要領で歌う。
展開②	○ばけたくんと遊ぼう ・化けたい食べ物を4種類の中から選ぶ。 ・4種の食べ物の匂いを嗅ぎ、イメージを膨らませる。 ・「ばけばけばけばけ〜」の掛け声で、選んだ食べ物がデザインされたエプロンを着る。 ・触ったり、鏡で見たりして、自分の恰好が変わったことを確認する。 ・「おばけのばけちやま♪」を踊る。	・匂いがする食材は口に入れないように注意する。 ・見やすいように鏡の向きを調整する。 ・触って分かるパネルと同様のデザインのエプロンを使う。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・大型テレビで読み聞かせをし、絵本の内容を振り返る。 ○挨拶	・全盲の児童は触って分かるパネルを使う。他児童は見やすい位置に移動する。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



・読み聞かせの際、触って分かる立体的なパネルを使用する。



・簡単に着脱ができるエプロンを使用する。見て分かるはっきりとした色合い、触って分かる立体的な構造になっている。

小学部1年 自立活動を主とする教育課程「ばけばけばけばけたくん」

絵本
解説

ねらい・ものの有無や変化の様子に、聴覚を協応させながら気付くことができる。

- ・登場人物の行動を模倣し、場面の体験活動をする。
- ・絵本の世界観を楽しみながら、読み聞かせに興味をもったり、絵本に即した活動を積極的に行ったりする。

教材



(ふん・え 岩田 明子
2009年 大日本図書)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

- 聞く(1~18)、話す(1~8)
- 読む(1~8)、書く(1~12)
- 数と計算(1~8)
- 量と測定(1~8)
- 図形(1~8)

『学習指導要領の内容』

- 国語: 小一段階
- 知技「ア(アイ)・イ(エ)」
- 思判表「Aア・Cアエ」
- 数学: 小一段階
- 知技「Aア(ア)㊦」「B(ア)㊦」
- 思判表「Aア(イ)㊦」「Qイ㊦」

	学習活動	手だて/留意点
導入	○挨拶 ○手遊び「はじまるよ♪」	・授業の始まりが分かるよう、年間通して同じ手遊びをする。
展開①	○読み聞かせ ・3回お話を聞く ①聞いて物語を知る ②触って場面を知る ③香りで場面を知る	・児童それぞれの優位な感覚を活用して、場面を知ることができるようにする。
展開②	○ばけたくんを見つけよう ・布で隠れているばけたくんを見つける。 ①部屋が明るい状態で、布を引っ張り、ばけたくんがいることを知る。 ②暗転した部屋で、布を引っ張り、ばけたくんを見つける。	・明るい部屋で活動の流れを知ってから、暗転する。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・大型テレビで読み聞かせをし、絵本の内容を振り返る。 ○挨拶	・各児童が優位な感覚を活用して振り返る。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



・素材の異なるパネルに触れ、場面転換が分かるようにする。



・布を引っ張り、ばけたくんを見つける。少し布から見せて気付きやすくしたり、完全に隠したり児童に合わせて調整する。

小学部2年 自立活動を主とする教育課程「はらぺこあおむし」

絵本
解説

教材

ねらい

- ・スライド絵本に注目し、言葉のリズムを楽しみながら、話の雰囲気味わう。
- ・あおむしが食べ物を食べると大きくなったり、ちょうちょになつたりすることを知る。



作・絵：エリック・カール
出版社 1976年 偕成社

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

聞く(2～8)、話す(2～8)
読む(1～8)、書く(2～8)
数と計算(1～8)
量と測定(1～8)
図形(1～8)

『学習指導要領の内容』

国語：小一段階

- 知技「アイ・イイ」
- 思判表「ア・ア及びエ」

数学：小一段階

- 知技「Aアア⑦Cアア④」
- 思判表「ア(イ)⑦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○挨拶 ○今日の活動の確認 ○言葉の学習「○の付く言葉」 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な物の名称を使用する。
展開①	<ul style="list-style-type: none"> ○絵本「はらぺこあおむし」を読む。 ・セリフ「もぐもぐ」「ぺっこぺこ」や、数唱を声に出しながら、話を見たり聞いたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アニメーションや効果音を用いたスライド絵本とオーガンジーのちょうちょを使用する。
展開②	<ul style="list-style-type: none"> ○活動「あおむしになろう」 ・活動するペアを作り、あおむしになる。 食べ物カーテンをくぐって食べ物を食べる。あおむしの体に食べた物のブロックをつなげ、あおむしが大きくなったことを知る。 ・順番に食べ物を食べた後、児童は黒布をかぶり、さなぎになる。 ・両腕にサテン布のちょうちょの羽をつけ、ちょうちょになってダンスを踊る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・食べ物カーテンをくぐるときは「もぐもぐ」、食べ終わった後はスイッチを使用して「ぺっこぺこ」を言い、話の流れが分かるようにする。 ・食べ物を食べるとあおむしが大きくなることに気付けるよう、言葉掛けをする。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の活動を振り返る ○挨拶 	<ul style="list-style-type: none"> ・話の流れを確認しながら活動の振り返りができるようにする。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



・食べ物カーテン

あおむしが食べる物を1つずつ提示し、児童が順番に通じ、食べ物を食べる雰囲気を味わう。



・食べ物ブロック

あおむしが食べた物の絵をつけたブロック(あおむしの体)をあおむしにつなげていき、あおむしが大きくなることに気付けるようにする。

小学部1・2年 自立活動を主とする教育課程「はらぺこあおむし」

絵本
解説

教材

- ねらい
- ・物語の展開を知り、繰り返しの言葉を楽しむ。
 - ・登場人物や大きさ、数に注目することができる。
 - ・あおむしに変身して写真カードと同じ物を選ぶ。
 - ・選んだ物をあおむしにあげる。



作・絵：エリック・カール
出版社：偕成社

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
聞く(1～8)、話す(1～8)
読む(1～8)書く(1～8)
数と計算(1～8)
量と測定(1～8)
図形(1～8)

『学習指導要領の内容』
国語：小一段階
○知技「アア・イ(ア)」
○思判表「アイ・ア及びエ」
数学：小一段階
○知技「Aアア⑦」
○思判表「Aア(イ)⑦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶、今日の活動の確認 ○発声「あいうえお」の歌 ○言葉の学習「き」のつく言葉	・口形カードや文字・イラストカードを提示しながら発声を促す。
展開①	○「はらぺこあおむし」の人形・ペープサート劇を見る。	・数や大きさに注目できるように展開させる。
展開②	○活動「あおむしに変身して写真カードと同じ食べ物を探そう」 ・あおむし帽子をかぶって変身する。 ・かご・写真カードを持って「おなかですいた」の歌を歌いながら探しに行く。 ・2つ以上の食べ物の模型の中から見比べて同じ物を選ぶ(キャリア⑧⑩)。 ・みんなに選んだ物を発表して伝える。 ・大きいあおむしに選んだ物をあげる。	・あおむしに変身した後は鏡で一人一人確認する。 ・食べ物の模型と写真カードを見比べることができるように見やすい位置に提示し、表情や声等をしっかり受け止める。 ・友達の活動がしっかり見えるようにする。
まとめ	○本時の活動を振り返る ○挨拶	・具体物を提示しながら、今日やったことを確認する。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・絵本に出てくる食べ物をフェルトで作り、持ちやすくする。中に粘土を入れ重さを感じることができるようにする。



- ・人形・ペープサート劇では、曜日や数字は文字で提示し、「〇つ食べました」では、1・2・3と数えながら、食べ物カードを提示する。

小学部2年 自立活動を主とする教育課程「はらぺこあおむし」

絵本
解説

教材

- ねらい
- ・物語の展開を知り、繰り返しの言葉を楽しむ。
 - ・登場人物や大きさ、数に注目することができる。
 - ・あおむしに変身して食べ物を食べさせてあげる。
 - ・さなぎになって蝶になる劇遊びを行う。



作・絵:エリック・カール
出版社:偕成社

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
聞く(1~8)、話す(1~8)
読む(1~8)、書く(1~8)
数と計算(1~8)
量と測定(1~8)
図形(1~8)

『学習指導要領の内容』

国語:小一段階
○知技「ア(ア)・イ(イ)」
○思判表「アイ・シア及びエ」
算数:小一段階
○知技「Aア(ア)㉞」
○思判表「Aア(イ)㉞」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶、今日の活動の確認 ○発声「あいうえお」の歌 ○言葉の学習「け」のつく言葉	・ロ形カードや文字・イラストカードを提示しながら発声を促す。
展開①	○「はらぺこあおむし」のスライドによる読み聞かせをTV画面で見る。	・食べ物や数に注目できるように展開させる。
展開②	○活動「あおむしに変身して食べ物を探す。」 ・あおむしの帽子をかぶって変身し、好きな食べ物を探しに行く。見つけたらかごに入れる。(キャリア⑦⑩)。 ・みんなに選んだ物を発表して伝える。 ・大きいあおむしの模型に選んだ物を食べさせてあげる。(キャリア⑧) ・さなぎになって蝶になる。	・食べ物を提示するときに、見えやすく、手に取りやすい位置に置く。 ・あおむしに食べさせるとき、自分で食べさせられるように穴を大きくする。効果音を用意し食べてることに注目させる。 ・友達の活動がしっかり見えるようにする。
まとめ	○本時の活動を振り返る ○挨拶	・具体物を提示しながら、今日やったことを確認する。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・絵本に出てくる食べ物をペーパーサートにし、食べ物が増えていく様子と数を数えることができるようにする。



- ・選んできた食べ物を箱のあおむしの穴のところに、自分で食べさせる。食べさせるときに「もぐもぐもぐ」と言葉掛けをする。

小学部2年 自立活動を主とする教育課程「はらぺこあおむし」

絵本
解説

- ねらい・読み聞かせに興味をもち、自分の気持ちを表出しながら楽しむ。
 ・具体物に気付いて、目で追ったり、教職員と一緒に手指を使って操作したりする。
 ・場面展開に見通しをもち、主体的に劇遊びができる。

教材



作・絵:エリック・カール
出版社:偕成社

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

- 聞く(1~18)、話す(1~8)
- 読む(1~8)、書く(1~12)
- 数と計算(1~8)
- 量と測定(1~8)
- 図形(1~8)

『学習指導要領の内容』

- 国語:小一段階
- 知技「ア(アイ)・イ(エ)」
- 思判表「Aア・Cアエ」
- 算数:小一段階
- 知技「Aア(ア)㉞④」「Bア(ア)㉞」
- 思判表「Aア(イ)㉞」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○手遊び「すうじのうた♪」、名前呼び	・全盲の児童が環境把握できるように、教員の名前も呼ぶ。
展開①	○「はらぺこあおむし」動画 ○あおむしと遊ぼう ・あおむしの人形に気付く。 ・あおむしとくすぐり遊び等をする。 ○あおむしに食べ物をあげよう ・りんごとオレンジの模型を確認する。 ・あおむしに食べさせる。 ・りんごとオレンジの有無に気付く。	・全盲の児童は触って分かる絵本を使う。 ・個別にあおむしの人形、果物の模型を用意する。 ・教材の一つ一つを握る、注目する等して、操作しながら進める。
展開②	○はらぺこあおむしになろう(劇遊び) ・あおむしの帽子を被る。 ・りんごとオレンジに見立てたクッションを自分で見付け、手に取る。 ・さなぎに見立てたオーガンジーの布から出てきて、蝶になる。	・展開①で出てきた歌を使用することで、活動内容がお話と結び付くようにする。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・大型絵本で読み聞かせをし、絵本の内容を振り返る。 ○挨拶	・全盲の児童は触って分かる絵本を使う。他児童は大型絵本が見やすい位置に移動する。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



・触って分かる凹凸パネル。ページ内の一部を抜粋して作成している。パーツ毎に素材を変えており、線ではなく、面で形を捉えられるようにしている。



・はらぺこあおむし人形。靴下で作成し、中に教職員が手を入れて操作する。あおむし特有のぐねぐねとした動きや食べる動作を再現する。

小学部2年Aグループ 自立活動を主とする教育課程「おおきなかぶ」

<ねらい>

- ・ペープサートを見て、言葉や動きの繰り返しのリズムを楽しむことができる。
- ・友達を意識して、「手伝って」「いいよ」のやりとりができる。
- ・かぶが出てきたことに気づき、視線を向けたり、触ろうとしたりする。

絵本
解説

教材



(1966年 福音館)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

- 聞く(2～8)、話す(2～8)
- 読む(1～8)、書く(2～8)
- 数と計算(1～12)
- 量と測定(1～12)
- 図形(1～12)

『学習指導要領の内容』

- 国語: 小一段階
 - 知技「ア(イ)・イ(イ)」
 - 思判表「アイ・Bア・Cア、エ」
- 数学: 小一段階
 - 知技「Cア(ア) ④」
 - 思判表「Aア(イ) ⑦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○あいさつ	
展開①	○言葉の学習「な行」 ○テレビ画面を見ながら、「な行」のつく言葉を学習する。	・言葉を提示するとともに、タイミングを合わせて発声ができるように促す。
展開②	○ペープサート「おおきなかぶ」を見る。 ○劇遊びを行う。 ・登場人物の確認をする。 ・活動する配役を決める。 ・次の友達をスイッチで呼ぶ。 ・「手伝って」「いいよ」握手やタッチでやりとりをする。 ・かぶを引っ張る。(繰り返す) ・かぶの歌を歌う。	・児童の興味をひくよう、ペープサートで動きを付けながら読み聞かせを行う。 ・出番の友達を意識できるように、握手や体に触れて手伝いを依頼できるようにする。 ・かぶが出てきたことに気づき、触れたり視線を向けたりできるように児童のそばで模型を操作する。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動の確認 ・よかったところのフィードバック ○あいさつ	・本時の活動を思い出せるように、実際に使った教材で振り返る。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



①(ペープサート)登場人物に動きをつけて、絵本の世界(読み聞かせ)に気持ちを引き込む。



②スイッチやタブレット端末を使い、次の登場人物を呼ぶ。(呼ばれたら、「いいよ」の返事で、相手と握手やタッチをする。)



③かぶの葉をそれぞれの児童の実態に合うように持ち手を変える。

かぶや葉に自分から触れようとしたり、動かしたり、また、視線を向けたりする。

小学部1・2年 自立活動を主とする教育課程「おおきなかぶ」

絵本
解説

教材

くわらい>

- ・言葉の響きやリズムを楽しんで聞き、繰り返される言葉に気付き、自分でも表現する。
- ・物の形や大きさなどに関心をもち、見たり触れたりする。
- ・劇遊びを通して、話の流れに見通しをもち、役割を意識してやりとりをする。



(1966年 福音館)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
聞く(1～18)、話す(1～18)
読む(1～18)、書く(1～18)
数と計算(1～18)
量と測定(1～18)
図形(1～18)

『学習指導要領の内容』
国語: 小一段階
○知技「ア(イ)・イ(イ)」
○思判表「アイ・Bア・Cア、エ」
数学: 小一段階
○知技「Dア(ア) ㊦」
○思判表「Aア(イ)㊦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○始まりの挨拶 ・歌で始まりを知る ・「さ」のつく言葉を知る。	・「あいうえお」の歌などで、学習に気持ちを向けさせる。
展開①	○読み聞かせ ・「おおきなかぶ」の大型絵本を見る。 ・登場人物を知る。	・登場人物と繰り返しの言葉に注目させるように、ホワイトボードに大きなパネルも貼っていく。
展開②	○物語に即した活動 ①かぶを抜く体験をする。 ②劇遊びをする。 「●●さん、手伝って」「はい」 ③かぶの収穫の楽しさを感じる。	①小さなかぶを抜かせる。 ②「あまい げんきのよい とてつもなくおおいかぶ」の言葉と実物で大きさを実感させる。呼び掛けはスイッチ操作、返事は発声を促す。 ③楽しくロシア民謡を踊り、楽しさを感じ取らせる。
まとめ	○本時の振り返りをする。 ・取り組んだ活動の確認 ○終わりの挨拶	・本時の活動を簡単に振り返り(特にかぶの大小)劇遊びの頑張りを取り上げる。

活動の教材と使い方

絵本
解説

活動
解説

①



①大型絵本に合わせて、登場人物のパネルを貼っていき、話の流れを分かりやすくする。

②



②一人一人の箱土と本物のかぶを用意する。かぶを抜くことで、小さいかぶの感触を実感させる。

③



③大きなかぶを縦型の地面から出てくるようにして視線を向けやすくする。大きなかぶが抜けて、落ちてはねることで「げんきのよい とてつもなく大きいかぶ」を表現した。

小学部2年 自立活動を主とする教育課程「おおきなかぶ」

絵本
解説

教材

〈ねらい〉

- ・言葉の響きやリズムを楽しんで聞き、繰り返される言葉に気付き、自分で表現する。
- ・物の形や大きさなどに関心を持ち、見たり触れたりする。
- ・劇遊びを通して、役を意識して話しかけに注目したり、応じて答えたりする。



(1966年 福音館)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

- 聞く(1~4)、話す(1~4)
- 読む(1~6)、書く(1~6)
- 数と計算(1~4)
- 量と測定(1~4)
- 図形(1~4)

『学習指導要領の内容』

国語：小一段階

- 知技「アア(イ)・イイ(イ)」

- 思判表「Aイ・Bア・Cアエ」

算数：小一段階

- 知技「Bア(ア)㊦Dア(ア)

㊦」

- 思判表「Aア(イ)㊦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○始まりの挨拶 ・「かっぱのうた」	・言葉遊びのリズムを楽しみ、お話が始まる期待感をもつ。
展開①	○大型絵本の読み聞かせ ・「おおきなかぶ」の大型絵本を見る。 ・登場人物を知る。	・読み聞かせの途中3回、「おおきなかぶ」主題歌を交えて、楽しみながら、繰り返しの言葉に注目できるようにする。
展開②	○物語に即した活動 ①かぶを植える体験をする。 ②劇遊びをする。 「おーい、〇〇さん てつだって」、「いいよ」 ③かぶを収穫の楽しさを感じる。	①1対1対応の学習をしながら、かぶを3つ植える。 ②役割のイラストを選ぶ。次にかぶを引っぱる役の人や動物を、簡単なやりとりの言葉を使って呼ぶ。 ③「おおきなかぶ」が抜けた際、主題歌を歌う。
まとめ	○本時の振り返りをする。 ・授業の流れカードで取り組んだ活動の振り返りをする。 ○終わりの挨拶	・本時の活動の中で、児童の良かったところを取り上げて褒める。流れを振り返る。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方

①



①授業の間、背景におおきなかぶの絵をホワイトボードに提示しておく。お話のテーマを意識できるようにする。

②



②おじいさん役になって、1対1対応の学習をする。「大きな大きなかぶになれ～」と言いながら3つ植える。磁石でカチッと付くようになっている。

③



③大きなかぶを、机からドーンと落とすことで抜けたこととする。選んだ役割の帽子やスカーフを被って劇遊びをする。

小学部2年 自立活動を主とする教育課程「おおきなかぶ」

- ねらい・具体物に気付いて、目で追ったり、教職員と一緒に手指を使って操作したりする。
 ・場面展開に見通しをもち、主体的に劇遊びができる。
 ・「大きい」という大きさを表す言葉を知り、イメージをもつ。

絵本
解説

教材



A・トルストイ 再話
 出版社:福音館書店

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

- 聞く(1~18)、話す(1~8)
- 読む(1~8)、書く(1~12)
- 数と計算(1~8)
- 量と測定(1~8)
- 図形(1~8)

『学習指導要領の内容』

- 国語: 小一段階
- 知技「ア(アイ)・イ(エ)」
- 思判表「A・C・Aエ」
- 算数: 小一段階
- 知技「Aア(ア)㊦㊧」「Bア(ア)㊦」
- 思判表「Aア(イ)㊦」

	学習活動	手だて/留意点
導入	○挨拶 ○手遊び「すうじのうた♪」、名前呼び	・全盲の児童が環境把握できるように、教員の名前も呼ぶ。
展開①	○「おおきなかぶ」動画 ○ペープサート ・登場人物を確認する。(「まご」は抜く。) ・「うんとこしょどっこいしょ」のセリフを、動きを付けながら行う。 ○かぶって何? ・かぶの模型(布製)を、土(布製)から引き抜く体験をする。	・全盲の児童は触って分かる絵本を使う。 ・かぶ、土の模型を用意する。 ・教材の一つ一つを握る、注目する等して、操作をしながら進める。
展開②	○劇遊びをしよう ・直径1.2メートルのかぶ(バランスボール)に覆いかぶさり、「大きい」の言葉を知る。 ・かぶの葉を引き、かぶ(バランスボール)を台上から落とす。 ・数回繰り返す。	・かぶは見えている状態で行う。 ・展開①で出てきたセリフを使用することで、活動内容がお話と結び付くようにする。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・大型絵本で読み聞かせをし、絵本の内容を振り返る。 ○挨拶	・全盲の児童は触って分かる絵本を使う。他児童は大型絵本が見やすい位置に移動する。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



・触って分かる凹凸パネル。登場人物を厳選して作成している。パーツ毎に素材を変えており、線ではなく、面で形を捉えられるようにしている。



・かぶの模型。土に見立てた布に引っ掛かりを付け、引き抜く感覚が分かりやすくなっている。

小学部2年Aグループ 自立活動を主とする教育課程「おかいもの おかいもの」

絵本
解説

教材

ねらい

- ・身近な言葉を知ったり、覚えたりする。
- ・ごっこ遊びを通して、教員や友達を意識して、一緒に活動に参加する。
- ・指定された物を2択から一つ、選択することができる。



作・絵:さいとうしのぶ
出版社:ひさかたチャイルド

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

- 聞く(1~8)、話す(1~8)
- 読む(1~8)、書く(1~8)
- 数と計算(1~8)
- 量と測定(1~8)
- 図形(1~8)

『学習指導要領の内容』

- 国語:小一段階
- 知技「ア(ア)・イ(イ)」
 - 思判表「アイ・アア及びエ」
- 数学:小一段階
- 知技「Aア(ア)⑦」
 - 思判表「Aア(イ)⑦」

	学習活動	手だて/留意点
導入	○挨拶、今日の活動の確認 ○発声「あいうえお」の歌 ○言葉の学習「あいうえおの言葉」	・言葉カードを使用して、文字やイラストを認識できるようにする。
展開①	○「おかいもの おかいもの」を読む	・児童の見やすい位置にモニターを用意する
展開②	○活動「サンドイッチの材料を買おう」 ・かえるくんから写真カードをもらう。 ・写真カードに示された「食べ物」を2択(模型)の中から選ぶ。(キャリア②⑧⑩) ・レジに行き品物を買ひ、受け取る。 ・次の友達に交代する。 ・かえるくんに品物を渡す。 ・最後を買ってきたもので、サンドイッチが出来上がるのを確認する。	・児童が活動に困ったら、支援する。 ・VOCAを使って会話の順番を意識できるようにする。
まとめ	○本時の活動を振り返る ○挨拶	・話の流れを確認しながら活動の振り返りができるようにする。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・買い物リストを提示する。
- ・指定された食べ物二つの中から選ぶ。
- ・「これください」「どうぞ」とお店の人とやり取りをする。
- ・買い物を繰り返すことで、絵本と同じ食材を買うことができ、最後にサンドイッチができる。

小学部2年 自立活動を主とする教育課程「おかいもの おかいもの」

絵本
解説

教材

ねらい

- ・身近な言葉を知ったり、覚えたりする。
- ・買い物遊びを通して、教員や友達を意識して、一緒に活動に参加する。
- ・指定された物を2択から一つ、選択することができる。



作・絵:さいとうしのぶ
出版社:ひさかたチャイルド

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
聞く(1～8)、話す(1～8)
読む(1～8)、書く(1～8)
数と計算(1～8)
量と測定(1～8)
図形(1～8)

『学習指導要領の内容』

国語:小一段階
○知技「ア(ア)・イ(イ)」
○思判表「アイ・アア及びエ」
算数:小一段階
○知技「Aア(ア)ア」
○思判表「Aア(イ)ア」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶、今日の活動の確認 ○発声「あいうえお」の歌 ○言葉の学習「あ行、か行の言葉」	・言葉カードを使用して、文字やイラストを認識できるようにする。
展開①	○「おかいもの おかいもの」をTV画面を使用して読み聞かせをする。	・児童の見やすい位置にモニターを用意する。
展開②	○活動「サンドイッチの材料を買おう」 ・かえるくんから写真カードをもらう。 ・写真カードに示された「食べ物」を2択(模型)の中から選ぶ。(キャリア②⑧⑩) ・レジに行き品物を買ひ、受け取る。 ・次の友達に交代する。 ・かえるくんに品物を渡す。 ・頼まれた品物と買ってきた品物が合っているか確認する。	・実際のスーパーでかかっている曲を流してイメージをもたせる。 ・実物と同じ写真カードを用意する。品物が選択しやすいように2択に絞る。
まとめ	○本時の活動を振り返る。 ○挨拶	・話の流れを確認しながら活動の振り返りができるようにする。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・買い物リストを提示する。
- ・指定された食べ物を二つの中から選ぶ。
- ・「これください」「どうぞ」とお店の人とやり取りをする。
- ・買い物を繰り返すことで、絵本と同じ食材を買うことができる。

小学部3年 自立活動を主とする教育課程「ねずみくんのチョッキ」

絵本
解説

教材

ねらい

- ・スライド絵本や効果音を手がかりにして、動物の大きさが変わっていくことを知る。
- ・キーワードを意識して、チョッキのやり取りをする。



作：なかえよしを絵：上野紀子
出版社 1998年 ポプラ社

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
聞く(4～18)、話す(2～12)
読む(2～18)、書く(2～6)
数と計算(4～12)
量と測定(4～18)
図形(4～18)

『学習指導要領の内容』
国語：小一段階
○知技「ア(ア)・イ(エ)」
○思判表「ア・cア及びエ」
算数：小一段階
○知技「ア(ア)㊦㊧」
○思判表「ア(イ)㊦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	・活動は視覚提示を行う。
展開①	○「ねずみくんのチョッキ」の読み聞かせを聞く。 ○物語の登場人物や展開を振り返る。 ・動物の大きさが変わっていくことを確認する。	・アニメーションや効果音を用いたスライド絵本を使用する。 ・絵本と同じように、大きさの違う動物のペープサートを用意し、視覚と触覚で違いを確認する。
展開②	○物語に即したやり取り遊びをする。 ・やり取り遊びの手本を見る。 ・2人ずつ前に出て、「かして」「どうぞ」「ありがとう」のキーワードを意識しながら、チョッキのやり取りをする。 ・全員がチョッキを貸す役、借りる役をするまで繰り返し行う。	・キーワードを1つずつ確認し、セリフを言う時は強調しながら手本を見せる。 ・実際にチョッキを着たり脱いだりすることで、「貸す・借りる」のやり取りを体験できるようにする。
まとめ	○本時の活動を振り返る ○挨拶	・本時の活動を思い出せるように、実際に使った教材で振り返る。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・絵本と同じように、動物の大きさを変えたペープサートを見たり、触ったりして大きさの違いを感じられるようにする。
- ・絵本と同じ赤いチョッキを実際に着たり、脱いだりすることで「貸す・借りる」のやり取りを体験し、物語の展開の理解を深める。

小学部3年 自立活動を主とする教育課程 「ねずみくんのチョッキ」

絵本
解説

教材

- ねらい ・言葉のリズムを楽しみ、読み聞かせに注目する。
 ・「ねえねえ(肩叩き)」「貸して」など、自分なりの表現でやり取りできる。
 ・大小の違いに興味をもつ。



(作: なかえよしを 絵: 上野紀子
1974年 ポプラ社)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
 聞く(2~8)、話す(2~8)
 読む(1~8)、書く(2~12)
 数と計算(1~12)
 量と測定(1~12)
 図形(1~12)
 にじいろのさかな

『学習指導要領の内容』
 国語: 小1段階
 ○知技「ア(ア)(イ)・イ(エ)」
 ○思判表「Aア・Cア」
 数学: 小一段階
 ○知技「Aア(ア)㊦㊧」
 ○思判表「Aア(イ)㊦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	・絵表示で流れを分かりやすくする。
展開①	○言葉の学習「み」のつく言葉 ・「み」のつく言葉を知り、「み」の発声をしたり、口を開いたりする。	・見やすい位置でイラストを提示する。 ・児童によってはマイクを使って発声を促す。
展開②	○「ねずみくんのチョッキ」の読み聞かせを聞く。パネルで登場人物を確認する。 ○やり取り遊び(キャリア②⑧⑨) ・ねずみくんの小さいチョッキ、ぞうくんの大きいチョッキを借りる。 ・「ねえねえ(肩を叩く)」「貸して」を表出する。 ・小さい、大きい言葉を確認する。 ・「おおきなたいこ ちいさなたいこ」のダンスをする。	・抑揚をつけた話し方で、子ども達の興味をひく。 ・スライドの間に黒いスライドを挟み、ページの変化を分かりやすくし、注目を促す。 ・登場人物をパネルにし、一覧にする。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動の確認 ・次回の予告 ○挨拶	・次回への期待感をもたせるように話す。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・大型テレビで読み聞かせをする。スライドの間に一面黒のスライドを挟み、ページの変化を分かりやすくし、注目を促す。



- ・ねずみくんやぞうくんに「ねえねえ(肩叩き)」「貸して」とチョッキを借りるやり取りをする。大小のチョッキを実際に着てみる。

小学部3年 自立活動を主とする教育課程 「ねずみくんのチョコッキ」

- ねらい ・繰り返される言葉に注目しながら、「貸して」や「いいよ」を一緒に言ったり、やり取りの言葉が出てくることを期待しながら、大型絵本や活動を見たり聞いたりする。
 ・自分の台詞の順番を意識して、「貸して」や「いいよ」を伝え合うことができる。
 ・チョコッキを着たり、並べて見たりして比べながら「大きい・小さい」の理解を深める。

絵本
解説

教材



(作: なかえよしを 絵: 上野紀子
1974年 ポプラ社)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
 聞く(2~8)、話す(2~8)
 読む(1~8)、書く(2~12)
 数と計算(1~12)
 量と測定(1~12)
 図形(1~12)

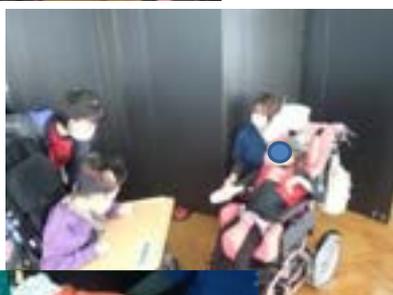
『学習指導要領の内容』
 国語: 小1段階
 ○知技「ア(ア)(イ)・イ(エ)」
 ○思判表「Aア・Cア」
 数学: 小一段階
 ○知技「Aア(ア)㊦㊧」
 ○思判表「Aア(イ)㊦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	・絵カードで流れを分かりやすくする。
展開①	○読み聞かせ。 ・「貸して」と読み上げた後に「いいよ」と言うことが分かる。 ・パネルで登場する動物を確認する。	・ねずみくんのときには小さく、ゾウのときには大きな声で読む。 ・動物が出るときに鳴き声を鳴らす。
展開②	○物語に即した活動(キャリア②⑧⑨) ・配役をねずみくんとサルに限定しチョコッキの貸し借りをする。 ・「貸して」「いいよ」のやり取りの順番が分かり、スイッチや発声で伝える。 ・「大きい・小さい」を見比べたり、着たりして違いに気付く。	・やりたい配役を聞く。 ・自分の台詞の順番に気付くまで待つ。 ・大きいはブカブカ、小さいはギュウギュウを歌に合わせながら見せたり、着せたりする。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動の確認 ・次回の予告 ○挨拶	・次回への期待感をもたせるように話す。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



・お母さんからチョコッキを受け取るネズミくんと、チョコッキを借りに行くサルの2つの配役に絞る。ゾウ役の教員が「チョコッキが大きくなった」ことを伝えながら「大きい・小さい」に触れていく。

・「貸して」や「いいよ」を自分の順番になったら、スイッチや発声で伝えるまで待つ。

小学部3年 自立活動を主とする教育課程 「ねずみくんのチョッキ」

絵本
解説

教材

ねらい

- ・繰り返しのフレーズや歌に気付いて「貸して」と相手に伝える。
- ・見たり、触れたり、感じたりして「大きい」「小さい」に気付いたり、選んだりする。



(作: なかえよしを 絵: 上野紀子
1974年 ポプラ社)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

聞く(1~4)、話す(1~4)
読む(1~6)、書く(1~8)
数と計算(1~6)
量と測定(1~6)
図形(1~6)

『学習指導要領の内容』

国語: 小一段階

○知技「ア(イ)・イ(イ)」

○思判表「Aア・Cア及びエ」

算数: 小一段階

○知技「Aア(ア)㊦」

○思判表「Dア(イ)㊦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	・活動は視覚提示を行う。
展開①	○読み聞かせ「ねずみくんのチョッキ」 ・タブレット端末(個別)で見たり、聞いたりする。	・繰り返しのフレーズ気付けるように、協調して、言葉で読む。
展開②	○チョッキを借りよう ・貸す人と借りる人に分かれて、相手に「貸して」と伝える。 ・「いいよ」と返事が返ってきたらチョッキを借りて着る。 ○「大きい」「小さい」を感じよう ・大きいぞうと小さいねずみを触って大きさの違いに気付く。 ・手元サイズの「大きいりんご」「小さいりんご」を見たり、触ったりして、大きさの違いに気付く。	・「いいチョッキだね～」の歌に合わせて「かして」と表出するタイミングを提示する。 ・大きいぞうはピーナッツバルーンで表現し、児童が抱えた時に、圧迫感や重さを感じ「大きい」を体感できるようにする。 ・りんごの大小比較では、手元サイズで準備をする。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動の確認 ・よかったところのフィードバック ○挨拶	・本時の活動を思い出せるように、実際に使った教材で振り返る。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



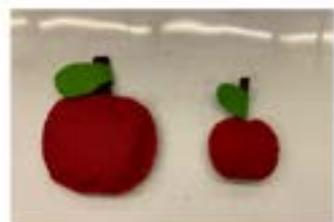
①「チョッキを借りよう」で使用する。

借りる前に、チョッキを着た人(貸す人)が児童の近くに行き「いいでしょう?」と言いながら見せ、「貸して」と言いたくなる場面を展開する。「いいちよっきだね～」と歌い「貸して」と伝えるタイミングを提示することで表出を促す。発声が難しい児童に対してはスイッチを使用する。



②「大きいぞう」「小さいねずみ」で使用する。

ピーナッツバルーン型のぞうを車いすに座っている児童が抱えるように持つことで、重さや圧迫感を感じ「大きい」を体感できるようにする。小さいねずみも同様に児童の膝の上に置き、軽さや圧迫感がないことを感じさせることで「小さい」を体感できるようにする。



③「大きいりんご」「小さいりんご」で使用する。

手元サイズで「大きい」「小さい」に気付けるようにする。手の平を乗せて、触れる範囲を感じたり、握れるりんごと握れないりんごに気付いたりして、大小の違いを感じられるようにする。
②③は関連させて、大小の違いに気付けるようにする。

小学部3年 自立活動を主とする教育課程 「もりのおふろ」

絵本
解説

ねらい・登場する動物の名前がわかる。

- ・体を洗う掛け声を楽しみながら、各部位に意識を向け、体の名称を覚える。
- ・「背中を洗ってもらえませんか」「はい、いいですよ」のやりとり遊びができる。

教材



西村聡雄(著) 2008年

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

聞く(4~24)、話す(4~12)
読む(4~18)、書く(4~18)
数と計算(4~18)
量と測定(4~18)
図形(4~18)

『学習指導要領の内容』

国語: 小一段階

- 知技「ア(ア)(イ)・イ(エ)」
- 思判表「Aア・Cア及びエ」

算数: 小一段階

- 知技「Aア(ア)㊦Bア(ア㊦)」
- 思判表「Aア(イ)㊦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	・活動は視覚提示を行う。
展開①	○「もりのおふろ」の読み聞かせを聞く。 ○物語の登場人物や展開を振り返る。 ・登場する動物の順番を1~5の数字とマッチングしながら、お風呂に見立てたたらいに並べていく。	・大型絵本にスポットライトを当てながら読み聞かせる。 ・動物のペープサートは触覚・視覚で違いを分かりやすくする。
展開②	○物語に即したやり取り遊びをする。 ・体を洗う部位の単語とカードを見て、さらに自分の体を直接触って覚えていく。体を洗う掛け声とともに各部位の乾布摩擦をする。 ・「背中を洗ってください」「はい」のやり取り遊びを二人ずつ行う。	・あし、かお、あなかは教職員と一緒に触ることができ、せなかは触れることができないので、二人のやり取り遊びにつながっていく。乾布摩擦用の布は、好みのものを選ばせる。
まとめ	○本時の活動を振り返る ○挨拶	・本時の活動を思い出せるように、実際に使った教材で振り返る。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



①たらいを「もりのおふろ」に見たて、どうぶつの順番を確認しながら貼っていく。

②体の部位のカード、名称の文字カードを合わせ、体を自分で触りながら体への意識を高めていく。

③やりたい動物のお面を被り「背中を洗ってもらえませんか」のスイッチを押し、次の動物の役がみんなの掛け声に合わせて、背中を順番にこする。

小学部3年 自立活動を主とする教育課程 「にじいろのさかな」④

絵本
解説

教材

- ねらい・言葉のリズムを楽しみ、読み聞かせに注目する。
- ・「ちょうだい」「ありがとう」など、自分なりの表現でやり取りできる。
- ・数字の「1」に興味をもつ。



(作: マーカス・フィスター
訳: 谷川俊太郎
2007年 講談社)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
聞く(2~8)、話す(2~8)
読む(1~8)、書く(2~12)
数と計算(1~12)
量と測定(1~12)
図形(1~12)
にじいろのさかな

『学習指導要領の内容』
国語: 小1段階
○知技「ア(ア)(イ)・イ(エ)」
○思判表「Aア・Cア」
数学: 小一段階
○知技「Aア(ア)㊦㊧」
○思判表「Aア(イ)㊦」

	学習活動	手だて/留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	・絵表示で流れをわかりやすくする。
展開①	○言葉の学習「ひ」のつく言葉 ・「ひ」のつく言葉を知り、「ひ」の発声をしたり、口を開いたりする。	・見やすい位置でイラストを提示する。 ・児童によってはマイクを使って発声を促す。
展開②	○「にじいろのさかな」のペープサートを見る。 ○やり取り遊び(キャリア②⑧⑨) ・にじうおから、キラキラウロコを1枚受け取る。 ・「ちょうだい」「ありがとう」を表出する。 ・皆でダンスをする。 ・数字の1を確認し、数字の歌を歌う	・「うみのうたをうたおう」のBGMを流し、話の世界に入りやすくする。 ・キーワードを「キラキラウロコ」「一つ」「ちょうだい」に絞って、簡潔にする。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動の確認 ・次回の予告 ○挨拶	・次回への期待感をもたせるように話す。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・ペープサートの前に海の音のBGMを流し、話の世界に入りやすくする。
- ・キーワードを絞り(キラキラウロコ、一つ、ちょうだい)、分かりやすい読み聞かせを心がける。
- ・にじうお(MT)と小さい魚(児童)のパネルを使い、ウロコの受け渡しのやり取りをする。

小学部3年 自立活動を主とする教育課程 「にじいろのさかな」①

絵本
解説

教材

ねらい

- ・絵本を見たり、聞いたりして、好きな場面で楽しい気持ちを表現することができる。
- ・「ください」や「ありがとう」など、発声やスイッチ等で伝え、やり取りをすることができる。



(作: マーカス・フィスター
訳: 谷川俊太郎
2007年 講談社)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
聞く(4~8)、話す(4~12)
読む(4~12)、書く(2~6)
数と計算(2~8)
量と測定(2~12)
図形(2~8)

『学習指導要領の内容』

国語: 小一段階
○知技「ア(ア)・イ(ア)」
○思判表「アイ・ア及びエ」
数学: 小一段階
○知技「Aア(ア)㊦㊧」
○思判表「Aア(イ)㊦」

	学習活動	手だて/留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	・絵表示で流れをわかりやすくする。
展開①	○「にじいろのさかな」の絵本を見る。	・児童の中心に大型絵本を提示する。 ・見にくい児童には個別で絵本を提示する。
展開②	○やり取り遊び(キャリア②⑧⑨) ・にじうおから、ウロコを1枚剥がして受け取る。 ・「ください」や「ありがとう」を表出する。 ・皆で楽しくダンスをする。	・魚の帽子を被り、海の音のBGMを流す。海の世界に入りやすくする。 ・児童がにじうおを見つけたら近寄るようにする。 ・キーワードを簡潔にし、同じ言葉で繰り返しやり取りをする。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動の確認 ・次回の予告 ○挨拶	・次回への期待感をもたせるように話す。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



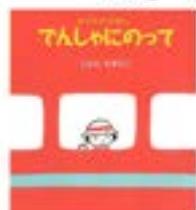
- ・魚の帽子を被ることで自分が魚になりきるようにする。
- ・入り口にオーガンジーや衝立をし、水のBGMをかけることで深い海の入り口をイメージさせる。
- ・にじうおの居場所をシャボン玉で気付きやすくし、児童が視線を向けたら近づくようにする。
- ・やりとりでは児童が「ください」と言ってからにじうおのボードを近づけ、児童が自分でウロコを剥がすようにする。

小学部3年 自立活動を主とする教育課程「でんしゃにのって」

- ねらい
- ・言葉のリズムを楽しみ、読み聞かせに注目する。
 - ・画面のイラストとパネルをマッチングする。
 - ・「ある」「ない」に気付く。

絵本
解説

教材



(作:とよた かずひこ
1997年 アリス館)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
聞く(2~8)、話す(2~8)
読む(1~8)、書く(2~12)
数と計算(1~12)
量と測定(1~12)
図形(1~12)

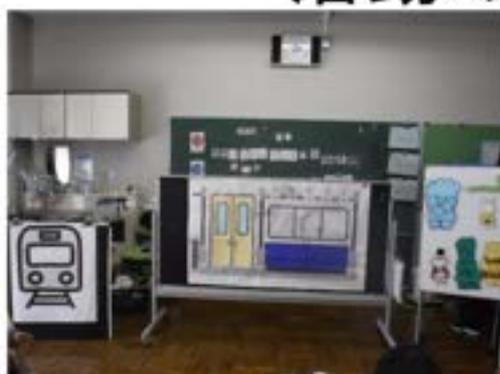
『学習指導要領の内容』
国語:小1段階
○知技「ア(ア)(イ)・イ(エ)」
○思判表「Aアイ・Cアエ」
数学:小一段階
○知技「Aア(ア)㊦㊧」
○思判表「Aア(イ)㊦、Bア(ア)㊦」

	学習活動	手だて/留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	・絵表示で流れを分かりやすくする。
展開①	○言葉の学習「も」のつく言葉 ・「も」のつく言葉を知り、「も」の発声をしたり、口を開いたりする。	・見やすい位置でイラストを提示する。 ・児童によってはマイクを使って発声を促す。
展開②	○「でんしゃにのって」の読み聞かせを聞く。パネルで登場人物の確認。 ○人形劇遊び(キャリア②⑥⑧⑨) ・タブレット端末のイラストと同じパネルを選ぶ。 ・乗客のパネルを電車ボードに貼る。 ・「しゅっぱーつ！」の合図をする。 ・ホワイトボードの乗客パネルがなくなったことに気付く。	・抑揚をつけた話し方で、子ども達の興味をひく。 ・スライドの間に黒いスライドを挟み、ページの変化を分かりやすくし、注目を促す。 ・はっきりとした色のパネルを使う。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動の確認 ・次回の予告 ○挨拶	・次回への期待感をもたせるように話す。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・大型テレビで読み聞かせ後、パネルで絵本の世界を再現遊びする。実際の絵本よりもはっきりとした色彩のパネルを作成した。
- ・タブレット端末の画面に映した絵本のイラストとパネルをマッチングする。→選んだパネルを電車ボードに貼る。→車掌役がビックマックを使って出発の合図をする。→次の駅へ

小学部3年 自立活動を主とする教育課程「でんしゃにのって」

絵本
解説

教材

- ねらい・言葉のリズムを楽しみ、読み聞かせに注目する。
・画面のイラストとパネルをマッチングする。
・「ある」「ない」に気付く。



(作:とよた かずひこ
1997年 アリス館)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
聞く(2~8)、話す(2~8)
読む(1~8)、書く(2~12)
数と計算(1~12)
量と測定(1~12)
図形(1~12)

『学習指導要領の内容』

国語:小1段階
○知技「ア(ア)(イ)・イ(エ)」
○思判表「Aアイ・Cアエ」
数学:小一段階
○知技「Aア(ア)㊦㊧」
○思判表「Aア(イ)㊦、Bア(ア)㊦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	・絵表示で流れを分かりやすくする。
展開①	○言葉の学習 「は行」のつく言葉 ・「は行」のつく言葉を知り、「は行」の発声をしたり、口を開いたりする。	・見やすい位置でイラストを提示する。 ・児童によってはマイクを使って発声を促す。
展開②	○「でんしゃにのって」の読み聞かせを聞く。 ○活動(キャリア②⑥⑧⑨) ・やりたい役を選ぶ ・乗客の順番で並び、椅子に座っていく ・座ったら「しゅっぱーっ！」の合図をする ・「ここだ」になったら子ども役の児童に教えたり、降りる所だと気付いたりする	・抑揚を付けた話し方で、子供たちの興味をひく。 ・動物が乗車する時にはドアベルの音を鳴らして期待感をもたせる。 ・電車に乗る楽しさを音楽と揺れで体感させる。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動の確認 ・次回の予告 ○挨拶	・次回への期待感をもたせるように話す。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・紙芝居で読み聞かせ後、実際に椅子を並べて再現活動をする。子供役か動物に変身し、乗車する順番に並ぶ。
- ・子供役は、おばあちゃんに渡す物をもって、電車で届けに行く設定にした。
- ・オンラインで参加の児童は駅長役になり、チャイムの合図と誰が乗ってくるのかパネルでマッチングを行った。
- ・目の前にあるパネルと合図で「ここだ」に気付きやすいように設定した。

小学部3年 自立活動を主とする教育課程「あめがふってきたよ」

絵本
解説

教材

ねらい

- ・「見る」「聞く」「触る」の活動を通して、雨音をイメージしたり、捉えたりする。
- ・場面の展開に気付き、表情を変えたり、発声したりして期待する。



(作:メアリー・サーフォソ 訳:木坂涼
2023年 徳間書店)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
聞く(1~4)、話す(1~4)
読む(1~6)、書く(1~8)
数と計算(1~6)
量と測定(1~6)
図形(1~6)

『学習指導要領の内容』

国語:小一段階

○知技「ア(ア)・ア(イ)・イ(イ)」

○思判表「アイ・Cア及びエ」

算数:小一段階

○知技「Aア(ア)㊦」

○思判表「Aア(イ)㊦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	・活動は視覚提示を行う。
展開①	○読み聞かせ「あめがふってきたよ」 ・タブレット端末(個別)で見たり、聞いたりする。	・オノマトペの部分に気付けるように、強調して読む。
展開②	○雨を感じよう ・トレイ内に手を出し、上からジョーロで水を落とし、水の感触を感じる。 ・二つの雨音を提示し、どちらが好みの雨音か選ぶ。 ○雨であそぼう ・雨のトンネルをくぐって、傘を持つ。 ・「あめがふってきた」の歌に合わせて小豆が頭上から降ってくることに気付く。	・雨音を感じる時に「ばらばら」「ざー」などの言葉を伝え、言葉と感触がつながるようにする。 ・歌を歌ったり、雨のトンネルをくぐったりして、場面の展開に気付けるようにする。 ・小豆を落とした後は、間をもたせ、児童の表出を促す。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動の確認 ・良かったところのフィードバック ○挨拶	・本時の活動を思い出せるように、実際に使った教材で振り返る。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



①「雨を感じよう」で使用する。

トレイの中にビニールを貼ったボウルを置き、その上に児童の手をのせる。教職員がジョーロを使って手の上に水をかける。「ばらばら」「ざー」「びちゃびちゃ」など言葉と感触をつなげられるように言葉を掛ける。



②「雨であそぼう」で使用する。

場面転換に気付けるように、雨のトンネルをくぐる。同時に「〇〇さんに雨がふってきた〜♪」の歌を歌う。



③「雨であそぼう」で使用する。

小豆受けのある傘を使用する。教職員と一緒に傘をもち、MTが頭上から小豆を落とす。「ばらばら」の時はゆっくり少量の小豆を落とし、「ざー」の時はすばやく大量の小豆を落とし、雨音の違いを感じられるようにする。

小学部3年 自立活動を主とする教育課程 「はみがきれいっしゃ」

絵本
解説

教材

ねらい

- ・「はみがきれいっしゃ」の動きに興味をもって、見続けたり、追視したりする。
- ・大型模型の歯の汚れ(布)の有無に気付き、手指や腕を動かして汚れを取り除こうとする。



(作:くぼまちこ
2015年 アリス館)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
聞く(1~4)、話す(1~4)
読む(1~6)、書く(1~8)
数と計算(1~6)
量と測定(1~6)
図形(1~6)

『学習指導要領の内容』

国語: 小一段階

- 知技「ア(イ)・イ(エ)・イ(エ)」
- 思判表「アイ・アエ」

算数: 小一段階

- 知技「Aア(ア)㊦、
「Bア(ア)㊦、㊧」、「Cア(ア)㊦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○学習内容の確認	・イラストを見て確認する。
展開①	○読み聞かせ「はみがきれいっしゃ」 ・タブレット端末(個別)で見聞きする。	・繰り返しのフレーズ(しゅっしゅっしゅっ)に気付けるように協調して読む。
展開②	○「はみがきれいっしゃ」の動きの確認 ・「はみがきれいっしゃ」の動きに注目する。 ・指に「はみがきれいっしゃ」を付ける。 ・手指や腕をリズムに合わせて動かそうとする。 ・「はみがきれいっしゃ」を目で追う。	・磁石を後ろから動かしながら確認する。 ・貨物列車の替え歌を歌いながら、楽しく活動する。 ・「しゅっしゅっしゅっ」のフレーズに合わせて動かす。
展開③	○大型の歯の模型から汚れ(布)を抜き取る活動 ・歯の模型の汚れ(布)の有無に気付く。 ・汚れを全部抜き取り、数を数える。 ・「はみがきれいっしゃ」を車庫まで動かす。	・歌に合わせて抜き取る。 ・見やすい位置に提示して汚れに気付けるようにする。 ・数えながら、汚れを別の容器に移す。
まとめ	○本時の活動を振り返る ○挨拶	・使用した教材を見ながら振り返る。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



①

①「はみがきれいっしゃ」の動きの確認 で使用する。

イラストの口の部分に白く塗った段ボールを歯に見立てて貼った。「はみがきれいっしゃ」に気付いたり、注目したりしやすいように、磁石で裏側から動かす。裏に磁石を付けたものと、テープを付けたものを用意し、「はみがきれいっしゃ」を爪に付け、段ボールの凹凸を活かして左右に自分で動かす活動をした。



②

②大型の歯の模型から汚れ(布)を抜き取る活動 で使用する。

段ボールに穴を開け、ペットボトルを埋め込み歯の模型を作成した。



③

③大型の歯の模型から汚れ(布)を抜き取る活動 で使用する。

歯の汚れ(布)を歯の間に挟んで使用する。汚れの形は、正方形のフェルトを2つつなげている。つかみやすいようにスーパーボールで引っ張りを、引っ張れるようにリボンを付けた。児童の実態に合わせて、掴んで抜き取るか、リボンを手首に付けて引っ張るか目標を変えられるようにした。歯茎と同系色は避け、汚れ(布)に気付きやすくした。



④

④大型の歯の模型から汚れ(布)を抜き取る活動 で使用する。

汚れをすべてとったら、「はみがきれいっしゃ(タイヤ付き)」を線路に沿って車庫(スイッチ)まで走らせる。スイッチまで辿り着くと、「キラキラ」とスイッチが鳴る。

小学部3年 自立活動を主とする教育課程「ゴリラのパン屋さん」

絵本
解説

教材

- ねらい
- ・物語の展開を知り、繰り返しの流れを楽しむ。
 - ・登場人物やパンの種類や個数を意識することができる。
 - ・小麦粉粘土でパンをこね、焼く体験を通して、登場人物の気持ちを想像する。



作：白井三香子絵：渡辺あきお
出版社：金の星社

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
聞く(1～8)、話す(1～8)
読む(1～8)、書く(1～8)
数と計算(1～8)
量と測定(1～8)
図形(1～8)

『学習指導要領の内容』
国語：小一段階
○知技「ア(ア)・イ(イ)」
○思判表「アイ・ア及びエ」
算数：小一段階
○知技「Aア(ア)⑦」
○思判表「Aア(イ)⑦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶、今日の活動の確認 ○繰り返しのある言葉遊びの歌 ○数字の歌	・動画を見る前と後に繰り返されるフレーズを話して口真似をするように促す。 ・パネルに注目させる。
展開①	○「ゴリラのパン屋さん」の動画による読み聞かせをモニターで見る。	・あらすじを話し、意識を向ける。
展開②	○活動「小麦粉粘土でパンをこねたり形を整えてトースターで焼く。」 ・小麦粉の感触を体験してから、小麦粉粘土の柔らかさや匂いを感じる。 ・めん棒を使ったり、叩いたりして、パンの形にする。 ・パンをトースターに入れる。焦げ目がついたら、出来上がりを確かめる。	・小麦粉や小麦粉粘土の感触遊びを通して、興味をもたせる。 ・めん棒を教職員と使い小麦粉粘土を平にしたり、ころころ巻いたりして、形を作る。 ・児童の手の動きを引き出す。
まとめ	○本時の活動を振り返る ○挨拶	・絵本のパンとできたパンを見比べ、やったことを確認する。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・パネルを子どもたちに渡し、手持ちの数字のパネルを歌に合わせて、子どもがパネルに貼っていく。
- ・絵本の中のパンやさんと同じように、パン作りをしていることを意識できるように声を掛けて、自主的に手を動かすように促す。

小学部3年 自立活動を主とする教育課程「おむすびころりん」

- ねらい
- ・物語の展開を知り、繰り返しの流れを楽しむ。
 - ・決まったフレーズに拍子をつけて音を楽しんだり真似て言ったりする。
 - ・おむすびの数を意識して、数字に親しむ。

絵本
解説

教材



作: いもとうよこ文絵
出版社: 金の星社

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
聞く(1~8)、話す(1~8)
読む(1~8)、書く(1~8)
数と計算(1~8)
量と測定(1~8)
図形(1~8)

『学習指導要領の内容』

国語: 小一段階
○知技「ア(ア)・イ(イ)」
○思判表「アイ・ア及びエ」
算数: 小一段階
○知技「Aア(ア)⑦」
○思判表「Aア(イ)⑦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○挨拶、今日の活動の確認 ○繰り返しのある言葉遊びの歌 ○数字の歌 	<ul style="list-style-type: none"> ・動画を見る前と後に繰り返されるフレーズを話して口真似をするように促す。 ・動画に注目させる。
展開①	<ul style="list-style-type: none"> ○「おむすびころりん」の絵本による読み聞かせをモニターで見る。 ○ペープサートを使って登場人物を確認する。 ・「おむすびころりんすっとなすっとな」の言葉を意識させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・あらすじを話し、意識を向ける。 ・リズムを付けて「おむすび〜」の言葉を話し、楽しめるようにする。
展開②	<ul style="list-style-type: none"> ○劇遊び ・おにぎりを1~3の数字カードを使って選び何個のおにぎりを転がすかを意識させる ・おじいさんの役になって、作ったおむすびを坂道を使って穴に向かって転がす。 ・穴から聞こえてくる言葉を、見ている子供たちと繰り返し言うように促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数字を貼った箱を提示して具体物の中に入れて対応させ、数字と量を見せる。 ・坂を転がるおむすびを目で追えるように、傾斜を緩やかにする。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の活動を振り返る ○挨拶 	<ul style="list-style-type: none"> ・あらすじを繰り返し、話の内容を意識付けする。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・パネルを提示して、自分のやりたい役のパネルを選ばせて、それぞれの役を意識させた。



- ・転がっていくおにぎりを目で追えるように、長目の竹を使い穴の中に落ちた時に音が鳴るようにした。

小学部4年Aグループ 自立活動を主とする教育課程「かちかちやま」

絵本
解説

教材

ねらい

- ・歌を手掛かりに、次の展開に期待しながら読み聞かせを聞くことができる。
- ・物語の言葉や擬音語に親しみながら、火打石を鳴らすことができる。



(1997年 永岡書店)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
聞く(4～12)、話す(2～8)
読む(2～12)、書く(2～8)
数と計算(4～12)
量と測定(4～12)
図形(4～12)

『学習指導要領の内容』
国語: 小一段階
○知技「ア(イ)・イ(ア)(イ)」
○思判表「Aア・Cア及びエ」
数学: 小一段階
○知技「Aア・Cア」
○思判表「Cイ」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○今日の物語の確認	・絵本の表紙をモニターに映して見せる。
展開①	○TVを使用した「かちかち山」の読み聞かせを聞く。 ○登場人物をイラストを見て知る。	・読み聞かせ中、3つの場面で「かちかち山」の歌を歌う。
展開②	○逃げるためきと追うおじいさんのペープサートを見る活動 ・注視・追視・探索 ○「カチカチ」と火打石を鳴らす活動 ・ためきの反応を期待する。 ・手を使って火打石を鳴らす。 ○ボールでためきの船を落とす活動 ・「大きい」「小さい」の言葉を知る。 ・ボールを転がし、ためきを落とす。	・音を鳴らしながら児童の目の前でペープサートを左右に動かす。 ・児童の実態に応じてためきの人形を動かす。 ・「カチカチ」の言葉に合わせて打てるように支援する。 ・ボールに十分に触れさせて大小の理解を促す。
まとめ	○ためきが謝って逃げていくところを見て活動の終わりを知る ○挨拶	・ためき(人形)を児童の目の前に見せながら周り、教室から出ていく。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方①



- ・ペープサートのためき(でんでん太鼓)とおじいさん(鈴つき)は、それぞれ動くと音が鳴るようにする。
- ・黒いミニついたての反対側から出たり隠れたりさせるように動かす。
- ・出てきた時の注視、動いた時の追視、出てこない時に探索する行動を引き出す。

活動の教材と使い方②



- 教員①は、黒いミニついたての反対側から、たぬき(人形)を児童に背を向けて提示する。
- 教員②は、児童がカチカチと火打石(グレーのカスタネット)を打つのを支援する。
- 児童が火打石を鳴らすと、たぬきが「何の音」と振り向いたり、「ぼうぼう」と火がつき、「あちち」と逃げ回ったりする。
- 展開を期待しながら鳴らせるように指導する。

活動の教材と使い方③



- 机の上に青い布を敷き、川の場面であることが分かるようにする。
- 泥船に乗ったたぬき(人形)に向かって、スロープで「大きい(ボール)」か「小さい(ボール)」を正しく選択して転がし、たぬきを机から落とす。
- 落ちたたぬきを教員が動かし、「溺れちゃうよ」と溺れた演出をする。

小学部4年グループ 自立活動を主とする教育課程「ゆきのひの ゆうびん屋さん」

絵本
解説

ねらい

- ・物語に出てくるものの言葉を覚えたり、付ける体の部位を知り表現したりする。
- ・劇遊びを通して、友達と「ゆうびんです、どうぞ」「ありがとう」のやりとりができる。

教材



(1992年 福音館書店)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
聞く(4～12)、話す(2～8)
読む(2～12)、書く(2～8)
数と計算(4～12)
量と測定(4～12)
図形(4～12)

『学習指導要領の内容』
国語: 小一段階
○知技「ア(ア)・イ(イ)(エ)」
○思判表「Aアイ・Cウエ」
数学: 小一段階
○知技「Aア」
○思判表「Aイ・Bイ」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○あいさつ ○今日の物語を確認する	・絵本の表紙を見せる。
展開①	○人形劇「ゆきのひのゆうびん屋さん」を見聞きする。	・身に着けるものの名前ややりとりの言葉「どうぞ」「ありがとう」を強調する。
展開②	○小グループに分かれて、「身に着ける物」と「体の部位」を学習する。 ○やりとり遊び「ゆうびん屋さんごっこ」をする。 【ゆうびん屋さん】 ・友達の名前や届ける順番が分かる。 ・「どうぞ」の言葉かけて渡す。 【受け取る児童】 ・名前を呼ばれたことに気付く。 ・「ありがとう」の言葉かけて受け取る。 ・届いたものをどこに着けるか分かる。	・「ぼうしは頭」、「手袋は手」等、身に着けるものの名前と体の部位を、具体物を提示したり児童の体に触れたりすることで児童が実感できるように指導する。 ・呼び掛けに対する児童の反応や、体の部位についての問い掛けを行い、児童の反応を観察する。
まとめ	○3までの数 ・1から3まで数える ○あいさつ	・やりとり遊びの活動で使用した三つのりんごや3匹のねずみを提示し数える。

絵本
解説

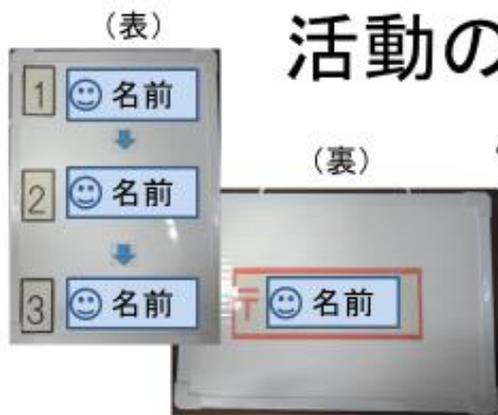
活動
解説

活動の教材と使い方



- ・人形劇では、ねずみが配達する場面で「ゆうびんさんの歌」をキーボードで演奏する。同じ歌を「ゆうびん屋さんごっこ」の活動でも使用し、児童が物語と同じ場面であることに気付けるようにする。
- ・身に着ける物が登場する場面で、効果音をつけ、児童の注目を促す。人形を一人一人の児童の目の前でも提示し、ものの名前を意識できるようにする。

活動の教材と使い方



- 「ゆうびんやさんごっこ」は小グループごとに行く。役割や配達する順番を顔写真付きの名前カードを貼ったWBで確認できるようにする。



- 人形劇に登場したのと同じ、「ぼうし」「てぶくろ」「くつした」を届けたり、身に着けたりする活動を行う。



小学部4年グループ 自立活動を主とする教育課程「ゆきのひのゆうびん屋さん」

絵本
解説

ねらい

- ・絵本を読みながら、次の展開に期待したり、展開が変わる時に注意を向けたりできる。
- ・劇遊びの中で、声や身体の動きで友達とやり取りをする。

教材



(作:小出 淡)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
聞く(2～18)、話す(2～18)
読む(2～24)、書く(2～24)
数と計算(2～18)
量と測定(4～12)
図形(4～36)

『学習指導要領の内容』
国語:小一段階
○知技「ア(ア、イ)・イ(ア)」
○思判表「アイ・ア及びエ」
数学:小一段階
○知技「Aア(イ)㊦」
○思判表「Cア(イ)㊦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	・活動は視覚提示を行う
展開①	○ペープサート「ゆきのひのゆうびん屋さん」を観る。 ・届ける物の名前や使い方を知る。	・物語の展開に意識が向くように、ペープサートの動きを見えやすくしたり、声色を変えたりする。
展開②	○物語に即したやり取り遊びをする。 ・「だれ」に荷物を届けたいか写真で選ぶ。(キャリアビブ) ・郵便を届けに行く。 ・「どうぞ」「ありがとう」のセリフのやり取りをする。 ・郵便を開ける。	・ポイントとなるセリフや音を決めて、やり取りの箇所を分かるようにする。 ・発声や手の動き、表情など各自の表現方法でやり取りする。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・良かったところのフィードバック ○挨拶	・本時の活動を思い出せるように、実際に使った教材で振り返る。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



・郵便を届けに行く時のテーマ曲を決め、活動する内容を分かりやすくする。

・ペープサートに、児童が帽子や靴下、手袋を貼っていくことで、身体の部位や、それぞれの物の使い方を意識できるようにする。

・郵便を渡す、受け取るやり取りを言葉掛け等で支援する。開けやすい箱を用いて、自分で取り出して楽しめるようにする。

小学部4年 自立活動を主とする教育課程「ゆきのひのゆうびん屋さん」③

絵本
解説

教材

ねらい

- ・絵本の世界感を味わう。
- ・イラストや鈴の音をたよりにしながら正しい配達先を意識する。
- ・数唱に慣れ親しむ。
- ・頭、手、首、足の名称が分かる。



(作: 小出渥・小出保子)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

- 聞く(1～18)、話す(2～18)
- 読む(1～18)、書く(1～18)
- 数と計算(1～18)
- 量と測定(1～18)
- 図形(1～12)

『学習指導要領の内容』

- 国語: 小一段階
 - 知技「ア(ア,イ) ウ(ウ,エ)」
 - 思判表「A7,イ・C7,エ」
- 算数: 小一段階
 - 知技「A7(ア)㉔㉕, B7(ア)㉔㉕, C7(ア)㉔㉕」
 - 思判表「A7(イ)㉔, A(イ)㉔, C7(イ)㉔」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	授業内容を思い出せるよう、絵本の表紙を見せる。
展開	1) 動画絵本の読み聞かせを見る。 2) 交代で配達チームになり、数を数えながら台車を引く。 3) カード、鈴の音をたよりにしながら荷物を配達する。 4) 全員が終わったら、もらった荷物をあけて、中にあるおもちゃで遊ぶ。 5) おもちゃをかごに片付ける。 6) 頭・手・足・首の位置を確認する。 7) 帽子、手袋、マフラー、スリッパをモデル役の大人の正しい位置に付ける。	1) モニターが見やすい位置に移動する。 2) 待っている児童は歌を歌いながら数唱をする。 3) 実態に応じてイラストカード、写真カード、鈴の音を使い分ける。 4) 手の感覚に訴えるようなおもちゃを中心に用意する。 6) 手遊び歌をやりながら楽しく行う。
まとめ	○本日の活動を振り返る。 ○終わりの挨拶をする。	使った教材の中から楽しかった活動を選ぶ。

活動の教材と使い方

絵本
解説

活動
解説



① 2～3人で荷物が入った台車を引く。

② イラストカードや写真カード、鈴の音をたよりに友達に荷物を配達する。

③ 荷物を受け取った児童は、ふたを開け、おもちゃを出して遊ぶ。

④ モデルとなる大人の正しい位置に手袋、マフラー、帽子を付ける。

小学部4年Aグループ 自立活動を主とする教育課程「おにぎりころころ」①

絵本
解説

教材

ねらい

- ・絵本の楽しい雰囲気を感じ、授業の活動の中で表現する。
- ・3までの数唱に慣れ親しむ。
- ・「転がる」が分かる。
- ・一対一対応ができる。



(作:トモコ・ガルシア
2017年 岩崎書店)

【実態と指導内容】

【学習到達度チェックリスト】
聞く(1~18)、話す(1~8)
読む(2~8)、書く(1~12)
数と計算(1~12)
量と測定(1~8)
図形(1~12)

【学習指導要領の内容】

国語:小一段階

○知技「ア(ア,イ) ウ(ウ,エ)」

○思判表「A7,イ-C7,エ」

算数:小一段階

○知技「A7(ア)㉔㉕, B7(イ)㉔㉕, C7(イ)㉔㉕」

○思判表「A7(イ)㉔, A7(イ)㉕, C7(イ)㉔」

㉕」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○あいさつ ○今日の活動の確認	授業内容を思い出せるよう、絵本の表紙を見せる。
展開	1) 絵本の読み聞かせをモニターで観る。 2) 金貨で果物を買う。 ① 金貨の触り心地を確かめる。 ② 模擬店舗で果物を購入し、金貨を一つのお皿に一本ずつ入れる。(一対一対応) ③ 金貨を数える。 3) 買った果物とおにぎりをスロープに転がして、ねずみくんのお弁当を作る。	① 「つるつるだね、きらきらだね」など言葉を掛ける。 ② 実態に応じて写真カードと同じ果物を選ぶ児童、シークレットハットから果物を取り出す児童に分ける。 ③ 児童が一本ずつ指差しできるように支援する。 3) ボウルに入ったことが音で確認できるようにする。
まとめ	1) 本日の活動を振り返る。 2) 終わりの挨拶をする。	

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



① 実態に応じてカードと同じものを買う、又はシークレットハットから取り出す。



② 金貨の支払いは、一対一対応の学習として、一つのお皿に一本の金貨を入れる。



③ 果物を転がして下のボウルに入れる。

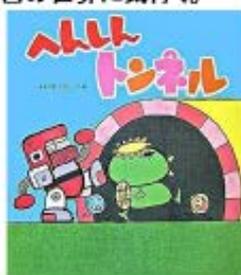
小学部4年 自立活動を主とする教育課程 「へんしんトンネル」

絵本
解説

教材

ねらい

- ・言葉のリズムを楽しむ。
- ・トンネルに物が入る／出る様子に注目する。
- ・色の世界に気付く。



【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

- 聞く(1～18)、話す(2～18)
- 読む(1～18)、書く(1～18)
- 数と計算(1～18)
- 量と測定(1～18)
- 図形(1～12)

『学習指導要領の内容』

- 国語：小一段階
 ○知技「ア(ア,イ) ウ(ウ,エ)」
 ○思判表「A7,イ-C7,エ」
 算数：小一段階
 ○知技「A7(ア)㊦㊧, B7(ア)㊨㊩, C7(ア)㊪」
 ○思判表「A7(イ)㊫, Aイ(イ)㊬, C7(イ)㊭」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	授業内容を思い出せるよう、絵本の表紙を見せる。
展開	○絵本の読み聞かせを見る／聞く。 ○おもちゃを変身させよう。 ・おもちゃをトンネルに入れる。 ・トンネルの出口から出てきたおもちゃをとる。 ・出てきたおもちゃで遊ぶ。 ・おもちゃを同じ写真の箱にしまう。 ○変身しよう。 ・一人ずつトンネルに入る。 ・好きな色のTシャツを着る。 ・トンネルから出て鏡を見る。	2) ①②おもちゃが入っていく・出てくる様子に着目できるよう言葉を掛ける。 ④写真と同じおもちゃの両方を見るように指差しをする。 3) ・鏡に映った自分をしっかり見たことを確認する。
まとめ	○本日の活動を振り返る。 ○終わりの挨拶をする。	

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



①おもちゃをトンネルの入り口から入れる。中で細工をしてあり、違うおもちゃが出口から出てくる。出てきたおもちゃで遊ぶ。



②遊び終わったら、おもちゃと同じ写真のついた箱にしまう。



③好きな色のTシャツを選んでトンネル(カーテンの裏)で「変身」する。

小学部4年 自立活動を主とする教育課程 「きんぎょがにげた」

絵本
解説

ねらい

- ・具体物に注目したり、追視したりすることができる。
- ・具体物に視線を向け、手を伸ばしたり掴んで取ったりすることができる。

教材



(作:五味 太郎
1977年 福音館書店)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
聞く(1～6)、話す(1～6)
読む(1～6)、書く(1～6)
数と計算(1～6)
量と測定(1～6)
図形(1～6)

『学習指導要領の内容』

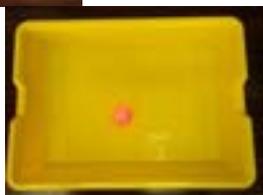
国語: 小1段階
○知技「イ(イ)」
○思判表「Cア」
算数: 小1段階
○知技「Aア(ア)㊦」
○思判表「Cア(イ)㊦」

	学習活動	手だて/留意点
導入	○あいさつ ・今日の活動の確認	・活動は視覚提示を行う
展開①	○『絵本を見る聞く』 ・タブレットで絵本を見る聞く。	・個人タブレットを使用する
展開②	○『きんぎょをさがそう』 ・金魚が逃げた様子を見て、金魚に注目したり、追視したりする。 ・金魚に見立てたボールを水に入れ、手で探り、ボールに触れると表情を変えて伝える。 ○『きんぎょをつかまえよう』 ・いくつか吊るした金魚の一つに注目して選び取る。 ○『きんぎょをにがそう』 ・にげたーの言葉掛けを受け、金魚をスロープでタライに滑り落とす。	・「にげたー」の掛け声と共に金魚を動かす。実態によって注目や追視をしやすいように、金魚を動かす。 ・ボールに触れ易いよう提示し、一緒に形や感触等を楽しむ。 ・楽しめる空間を提供する為、場面を切り替える。 ・児童の様子を見ながら「にげたー」の言葉掛けをする。
まとめ	○おわりのあいさつ ・今日の振り返りをする。	・頑張っていたことを伝える。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・金魚に注目させ、動かすことで追視できるように促す。「逃げたー」の掛け声で動かす。
- ・金魚に見立てたボールに触れて確かめた後に水の中に入れ、手で探りながら触って見付ける。
- ・場面切り替えで楽しめる空間にし、いくつか吊るした金魚の中から一つ選び取る。
- ・「にげたー」の掛け声に反応し、金魚をスロープ台からタライに滑り落とす。(逃がす)

小学部4年 自立活動を主とする教育課程「しろくまちゃんのほっとけーき」

絵本
解説

ねらい

- ・相手からの発信に対し、表情を変えたり声を出したりして答えることができる。
- ・具体物に視線を向けたり手を伸ばしたりすることができる。

教材



(作:わかやまけん
1972年 こぐま社)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

- 聞く(1~6)、話す(1~6)
- 読む(1~6)、書く(1~6)
- 数と計算(1~6)
- 量と測定(1~6)
- 図形(1~6)

『学習指導要領の内容』

- 国語:小一段階
- 知技「ア(ア)・イ(イ)」
 - 思判表「アイ」
- 数学:小一段階
- 知技「Aア(ア)㊦」
 - 思判表「Aア(イ)㊦」

	学習活動	手だて/留意点
導入	○あいさつ ・今日の活動の確認	・活動は視覚提示を行う
展開①	○『絵本を見る聞く』 ・タブレットで絵本を見る聞く。	・個人タブレットを使用する
展開②	○『ほっとけーきをつくろう』 ・鶏の人形に触れ、卵を落とす。 ・卵の模型についての輪っかを引き、中の黄身を出し、数唱を聞く。 ○『ことばにふれよう』 ・焼けたかなの場面をもう一度見る ・対教職員と一緒に言葉遊びをする ○『もりつけしよう』 ・ほっとけーきを積み重ねる。 ・1~3までの数唱をしながらホットケーキを1つずつ積む。	・鶏の人形に触れたら、鈴入りの卵を落とす。 ・卵の模型に付いた輪を引き、卵を割る。中の黄身が落ちたら、1~3までの数唱をし、その数字の数だけタンバリンを鳴らす。 ・ぼたあん等の台詞を聞きながら、身体遊びをする。 ・筒を用意し、筒の中に具体物を持って落とす。
まとめ	○おわりのあいさつ ・今日の振り返りをする。	・頑張っていたことを伝える。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・懐中電灯をあて、光に注目できるように言葉掛けをする。
- ・平仮名の『ひ』と『火』のイメージに触れる。
- ・鶏に触れ、触れたら音を出して鈴入りの卵を落とす。
- ・卵に付いた輪っかを引き、黄身が落ちたら数唱する。順番に1~3の数唱をする。
- ・数唱した時に、その数だけ音を鳴らす。
- ・筒に入れ積み重ねる

小学部5年 自立活動を主とする教育課程「でんしゃでいこう でんしゃでかえろう」

絵本
解説

ねらい

- ・絵本に注目したり、繰り返される言葉や効果音を聞いたりして、話の展開への期待感を発声や表情、身振り等で表現する。

教材



作・絵: 間瀬なおかた
出版社: 2002年ひさかたチャイルド

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
聞く(4~18)、話す(4~12)
読む(4~18)、書く(2~12)
数と計算(4~12)
量と測定(4~12)
図形(4~12)

『学習指導要領の内容』
国語: 小一段階
○知技「ア(イ)・イ(ア)」
○思判表「Aアイウ・Cアエ」
数学: 小一段階
○知技「Aア・Cア」
○思判表「Aア・Cイ」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○始めの挨拶 ○今日の活動の確認	・活動の流れを簡潔に説明する。
展開①	○「でんしゃでいこう」の読み聞かせを聞く。 ○「山の駅」を確認する。 ○効果音を聞き、赤と青のトンネルのどちらに行くか決める。 ○切符をもらうやり取りを行う。 ○トンネルをくぐり、「海の駅」に行く。	・場面の展開に気付くために、楽器を鳴らして読み聞かせを行う。 ・色カードを活用する。
展開②	○「海の駅」を確認する。 ○魚または貝を釣り、釣れた物で型はめパズルを行う。 ○「でんしゃでかえろう」の読み聞かせを聞く。 ○「山の駅」に戻る。	・釣れた物の形を指でなぞらせて、形を捉えるようにする。 ・児童の実態に応じて、型はめパズルを操作する際に、手元を支援する。
まとめ	○「山の駅」に戻り、切符を回収することで活動の終わりを知る。 ○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動の確認 ○終わりの挨拶	・本時の活動を思い出せるように、実際に使った教材で振り返る。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・拡大絵本を使用する。
- ・トンネルと切符は赤と青で対応させる。
- ・型はめパズルのピースは、魚(三角形)と貝(円)に見立てる。(写真は制作途中)
- ・赤と青のトンネルの色に対応させ、型はめパズルのピースも色を分ける。

小学部5年 自立活動を主とする教育課程「でんしゃでいこうでんしゃでかえろう」

絵本
解説

ねらい

- ・絵本を読みながら、次の展開に期待したり、展開が変わる時に注意を向けたりできる。
- ・劇遊びの中で、声や身体の動きで友達とやり取りをする。

教材



(作: 間瀬なおかた
2002 ひさかたチャイルド)
【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
聞く(2~18)、話す(2~18)
読む(2~24)、書く(2~24)
数と計算(2~18)
量と測定(4~12)
図形(4~36)

『学習指導要領の内容』
国語: 小一段階
○知技「ア(ア、イ)・イ(ア)」
○思判表「アイ・Cア及びエ」
数学: 小一段階
○知技「Aア(イ)㊦」
○思判表「Cア(イ)㊦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	・活動は視覚提示で行う。
展開①	○絵本「でんしゃでいこうでんしゃでかえろう」を観る。	・電車の走行音の擬音や車掌のアナウンス等を用いて、出発・到着、走行中、トンネルなどの場面をイメージできるようにする。
展開②	○物語に即したやり取り遊びをする。 ・教員による劇を観る。 ・順番に電車に乗り、トンネルをくぐったり、「やま」「ゆき」の駅に降りてそれぞれの遊びを行う。 キャリア教育①㊦	・それぞれの行先の遊びのうち、どちらをやりたいか選択しやすいように、一定の掛け声や歌で提示する。
まとめ	○本時の活動を振り返る。 ・良かったところのフィードバック ○挨拶	・本時の活動を思い出せるように、実際に使った教材で振り返る。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



・到着する二つの駅の色やテーマ曲を決め、そこで行う活動を結び付ける。二つの駅での遊びの中で、やってみたい方を選ぶ時の手掛かりにする。



・実際に通れるトンネルを用いて、入っていくと暗くなることに気付く。また自力で移動できる児童について、自分から入ってみようとする意欲を引き出す。

小学部5年 自立活動を主とする教育課程「でんしゃでいこう」①

絵本
解説
教材

ねらい

- ・絵本を読みながら、次の展開に期待したり、展開が変わるときに注意を向けたりできる。
- ・視覚や音、感触を手掛かりに活動したいトンネルを選択し、それを教職員に伝えることができる。



(作: 岡瀬 なおかた
2002年 ひさかたチャイルド)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

- 聞く(1~8)、話す(1~8)
- 読む(1~4)、書く(1~6)
- 数と計算(2~4)
- 量と測定(2~4)
- 図形(2~4)

『学習指導要領の内容』

- 国語: 小一段階
- 知技「ア(ア) (イ)・イ(ア) (エ)」
 - 思判表「Aアイ・Cアエ」
- 算数: 小一段階
- 知技「Aア(ア)②、Bア(ア)②③」
 - 思判表「Aア(イ)②、Bア(イ)②」

	学習活動	手だて/留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○挨拶 ○今日の活動の確認 ○「口のたいそう」で、あいうえおの口の動きを練習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動卡活動カードによる視覚提示を行う。 ・ペーパーサートを活用し、口の動きが分かりやすいようにする。
展開①	<ul style="list-style-type: none"> ○読み聞かせ ・「でんしゃでいこう」を読む。 ・線り廻しの描写や読み聞かせ中に聞こえる音に注目する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・トンネルの線り廻りや場面が変化する描写で、楽器を鳴らし変化が分かりやすいようにする。
展開②	<ul style="list-style-type: none"> ○トンネル体験をする ○教職員と会話のやり取りをする。 ・読み聞かせで出てきた楽器を基に、行きたいトンネルコースを決める。 ・トンネル体験に必要な切符の枚数を数える。(3までの数) ・トンネルをくぐる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の問い掛けに対して、児童が選択し答えながら会話のやり取りを行う。 ・数唱は、発声と身体運動を連動させて行う。 ・車いすを揺らしたりスピードを変えたりして、電車に乗っている状態を再現する。
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動の確認 ・良かったところのフィードバック ○挨拶 	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を思い出せるように、実際に使った教材で振り返る。

絵本
解説
活動
解説

活動の教材と使い方



- ・読み聞かせの際、スライドと楽器を活用し、視覚的・聴覚的に場面展開が分かりやすいようにする。
- ・切符を数える数唱の際、発声に合わせて身体運動を行うことで、数の定着を図る。
- ・トンネルの壁と暗幕の使用や、電車に関連した具体物を用意し、トンネルの暗さや電車を表現する。

小学部5年 自立活動を主とする教育課程 「もりのともだち」

絵本
解説

教材

ねらい

- ・物語に出てくる言葉や効果音を聞いて、物語の展開への期待感を表現する。
- ・登場する動物と関わり、「ともだち」という言葉を発声やサイン等で表現し、やり取りをする。



(1977年 富山房)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
 聞く(4~18)、話す(4~12)
 読む(4~18)、書く(2~12)
 数と計算(4~12)
 量と測定(4~12)
 図形(4~12)

『学習指導要領の内容』

国語：小一段階

- 知技「ア(ア)・イ(エ)」
- 思判表「Aア、イ・Cエ」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○あいさつ ○今日の活動の確認	・活動の流れを簡潔に説明する。
展開①	○読み聞かせ「もりのともだち」 ○物語に出てきた動物の名前と鳴き声を確認する。 ○「ともだち」のサインを確認する。	・ペープサートとパネルシアターを使い、台詞と動きを強調する。 ・動物の鳴き声の効果音を鳴らす。
展開②	○くま役、にわとり役になり、「ともだち」という言葉をサイン等で表現し、うさぎとやり取りを行う。 ○きつねを追い出すために、合図を聞いて具体物进行操作する。 ・くま役：石を傾斜台から転がす。 ・にわとり役：扇風機のスイッチを押す。	・教職員が発表する児童の横で「ともだち」と発声しながらサインの見本を見せる。 ・役割を意識できるように、動物のイラストを頭に付ける。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動の確認 ○あいさつ	・本時の活動を思い出せるように、実際に使った教材で振り返る。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・読み聞かせでペープサートとパネルシアターを使い、動物の動きも表現する。
- ・場面設定が分かるように大型の家の模型を使って活動を行う。
- ・動物の役を意識できるようにイラストのお面を頭に付ける。

小学部5年 自立活動を主とする教育課程「14ひきのびくにつく(ねずみくんのびくにつく)」

絵本
解説

ねらい

・読み聞かせに注目し、歌や台詞を手掛かりに次の展開に期待して人形劇を見たり聞いたりできる。

・物語に即した活動を通して、物語に出てくる物や感触の言葉を覚えたり、選択したりすることができる。

教材



作・絵: いわむらかずお
出版社: 1986年 童心社)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

聞く(1~24)、話す(1~12)
読む(1~36)、書く(1~18)
数と計算(1~18)
量と測定(1~18)
図形(1~12)

『学習指導要領の内容』

国語: 小一段階
○知技「ア(イ)・イ(エ)」
○思判表「Aアイウ・Cアエ」
数学: 小一段階
○知技「Aア・Cア」
○思判表「Aア・Cイ」

	学習活動	手だて/留意点
導入	○始めの挨拶 ○今日の活動の確認	・児童同士の間隔や視覚的な配慮が必要な児童の配置に留意する。
展開①	○物語を聞く。 ○「へんしん」のかけ声に合わせてねずみの帽子をかぶる。	・児童が興味や親しみをもって学習できるように、楽しい雰囲気言葉を掛ける。
展開②	○弁当を作る(キャリア⑩)。 ○ピクニックに出かける。	・児童の実態に合わせて活動内容を変える。
③	○「ふわふわ」の綿毛を集める(キャリア⑧)。	・言葉と感触を結び付けるために、手に取った時「ふわふわ」と言いながら確認する。
④	○弁当を食べる真似をする。	
⑤	○「へんしん」のかけ声に合わせてねずみの帽子を取る。	
まとめ	○本時の活動を振り返る ○終わりの挨拶	・本時の活動を思い出せるように具体例を挙げて振り返る。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・「ふわふわ」の綿毛を集めようと伝える。
- ・児童が綿毛を取ったら、その瞬間に「ふわふわだね」と言う。
- ・児童と一緒に「ふわふわ」であることを触りながら確認する。

小学部5年 自立活動を主とする教育課程「14ひきのぴくにつく」

絵本
解説

ねらい

- ・絵本を読みながら、次の展開に期待したり、展開が変わる時に注意を向けたりできる。
- ・劇遊びの中で、教員や友達と関わりを楽しみ、劇に出てくる事物に働きかける。

教材



(作: いわむらかずお 童心社)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

- 聞く(2~18)、話す(2~18)
- 読む(2~24)、書く(2~24)
- 数と計算(2~18)
- 量と測定(4~12)
- 図形(4~36)

『学習指導要領の内容』

- 国語: 小一段階
- 知技「ア(ア、イ)・イ(ア)」
 - 思判表「AI・CA及びエ」
- 数学: 小一段階
- 知技「AA(イ)㊦」
 - 思判表「CA(イ)㊦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	・活動は視覚提示を行う
展開①	○パワーポイントでお話を観る。 ・話に登場する花、動物、事象などの言葉に親しむ。	・本書の絵の雰囲気を楽しみつつ、文章に登場する事物や動植物に焦点が当たるように、ズームを使用したビデオをはさみながら物語を進める。
展開②	○物語に即した遊びをする。 ・教員の劇を観る。 ・ねずみの数を数唱し、数字の下にパネルを貼る。 ・「かわ」「はたけ」「のはら」にピクニックに行き、それぞれ「カエル取り」「イチゴ狩り」「風遊び」をする。 キャリア教育①⑦	・活動カードで行き場所を確認する。言葉と絵での説明に加え、触感でも分かるように、カードに貼った布や保冷剤を触って確認する。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・良かったところのフィードバック ○挨拶	・本時の活動を思い出せるように、実際に使った教材で振り返る。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



・活動カードには、言葉と絵に加え、保冷剤(川)、フェルト(畑)、布(野原)を貼り付け、触れることで、言葉との関係が意識できるようにした。

・触感の異なる教材を使用している。活動する際には「冷たい」「柔らかい」などの形容詞や「ふわふわ」などの擬音を用いて、触感と言葉を結び付けられるようにする。

小学部5年 自立活動を主とする教育課程「14ひきのぴくにつく」

絵本
解説

教材

ねらい

- 絵本の世界感を味わう。 ○ものの永続性に気付く。
- 見た目を頼りに好きなものを選び、見比べて「同じ」が分かる。
- 3までの数唱に慣れ、ものが増えていくことに気付く。
- 3までの数が分かり、一対一対応ができる。



(作: いもとようこ)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

- 聞く(1~8)、話す(1~8)
- 読む(1~4)、書く(1~6)
- 数と計算(2~4)
- 量と測定(2~4)
- 図形(2~4)

『学習指導要領の内容』

- 国語: 小一段階
 - 知技「ア7(ア)(イ)・イイ(イ)(エ)」
 - 思判表「A7, I, C7, E」
- 算数: 小一段階
 - 知技「A7(ア)㉞㉟, B7(ア)㉞㉟, C7(ア)㉞㉟」
 - 思判表「A7(イ)㉞, A1(イ)㉞, C7(イ)㉞」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	授業内容を思い出せるよう、絵本の表紙を見せる。
展開	(1) 絵本の読み聞かせを見る。 (2) お弁当箱の歌を聞き身体を動かす。 (3) お弁当を選ぶ。見本と同じ物を選択。 ・パンかおにぎりから選ぶ (4) りんごを穴から入れ、箱の中の皿に落とす。(3までの数唱) (5) 暗い教室の中で光る花を目で追う。 (6) 紙テープ相撲をする(原っぱ)	(1)(2) テレビが見やすい位置に移動する。 (3) 写真と具体物のマッチングをする (4) STと声掛けに合わせて力を入れ穴に落とす。 (5) STは光るおもちゃに追視・注視させるよう促す。 (6) 紙テープを輪っかにして握り、引っ張り合う体験遊びをする。
まとめ	○本日の活動を振り返る。 ○終わりの挨拶をする。	使った教材の中から楽しかった活動を選ぶ。



活動の教材と使い方

絵本
解説

活動
解説

- (1) 絵本の読み聞かせを見る。
- (2) お弁当箱の歌を聞き身体を動かす。
- (3) お弁当を選ぶ。見本と同じ物を選択。
・パンかおにぎりから選ぶ
- (4) りんごを穴から入れ、箱の中の皿に落とす。(3までの数唱)
- (5) 暗い教室の中で光る花を目で追う。
- (6) 紙テープ相撲をする(原っぱ)

小学部5年 自立活動を主とする教育課程「どうぞのいす」

絵本
解説

- ねらい ・繰り返しの台詞を楽しみ、次の展開に期待しながら物語を見聞きする。
 ・「いただきます」や「どうぞ」の台詞に合わせて具体物をかごから出したり入れたりする。
 ・「いただきます」や「ごちそうさま」の台詞を身振りや発声、開口等で表現する。

教材



(作: 香山 美子 絵: 柿本 幸造
1981年 ひさかたチャイルド)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

- 聞く(4~12)、話す(2~8)
- 読む(2~12)、書く(2~8)
- 数と計算(4~12)
- 量と測定(4~12)
- 図形(4~12)

『学習指導要領の内容』

- 国語: 小一段階
 ○知技「ア(ア)・イ(イ)(エ)」
 ○思判表「Aア・ウ、Cア・エ」
 数学: 小一段階
 ○知技「Aア(ア)の Bア(ア)の」
 ○思判表「Aア(イ)の」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	
展開①	○モニターで絵本「どうぞのいす」の読み聞かせを見聞きする。 ○絵本に出てきた登場人物(動物)と食べ物の名前を確認する。	・読む教職員を変えることで登場人物の変化に気付けるようにする。 ・平仮名とイラストを提示する。
展開②	○劇の準備をする(キャリア⑦)。 ・持っていく食べ物を正しく選ぶ。 ○劇遊びをする(キャリア⑧⑨)。 ・かごの中の食べ物を出し入れしたりする。 ・「いただきます」「ごちそうさま」の台詞を表現する。 ・「むしゃむしゃ」の台詞に合わせて食べる仕草を表現する。 ○友達に劇に注目する。 ・「お楽しみどおしまいの歌のスイッチを押す。 ・次に出てくる役の友達を確認する。	・児童の実態に合わせて2者択一等で選択させる。 ・児童がかごの中の食べ物や空のかごに視線を向けたり、食べ物を出し入れしたりするのに合わせて教員が台詞を言い、言葉と動きを結び付けられるようにする。 ・個々の実態に応じた表現方法での挨拶の言葉の表出を待つ。 ・友達の活動に注目できるように見やすい位置で鑑賞させる。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・良かったところのフィードバック ○挨拶	・本時の活動を思い出せるように、実際に使った教材で振り返る。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・児童が操作しやすい位置にかごを設置し、食べ物の模型を入れたり出したりできるようにする。
- ・挨拶(「いただきます」「ごちそうさま」)の言葉の表現は、児童の実態に合わせて課題を設定する(身振り、発声、ドロップトーク等)。

小学部5年 自立活動を主とする教育課程「かさじぞう」

ねらい ・登場人物の声色の違いや効果音を手掛かりに場面の変化に気付き、物語を見聞かせる。
 ・笠をかぶっていない地蔵に気付き、笠をかぶせることができる。

絵本
解説

教材



(谷 真介文/赤坂 三好 絵
1991年 偕成社)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
 聞く(4~12)、話す(2~8)
 読む(2~12)、書く(2~8)
 数と計算(4~12)
 量と測定(4~12)
 図形(4~12)

『学習指導要領の内容』
 国語:小一段階
 ○知技「ア(ア)・イ(イ)」
 ○思判表「Aア・イ、Cイ」
 数学:小一段階
 ○知技「Aイ(イ)の、ア(ア)の」
 ○思判表「Cア(イ)の」

	学習活動	手だて/留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	
展開①	○モニターで絵本「かさじぞう」の読み聞かせを見聞かせる。	・読む教職員を変えることで登場人物の変化に気付けるようにする。
展開②	○ばあさまから笠を受け取る。 ○町に笠を売りに行く「いきます」(キャリア②) ○笠を売る「笠はいらんかね」 ○地蔵に笠をかぶせる(キャリア④⑥)。 ・一人一つずつ、笠をかぶっていない地蔵に「かぶせる」。 (単元の後半のみ)・最後に残った地蔵に、自分のタオル等を貸してあげる。 ○家に帰る「たがしま」 ○地蔵が宝や食べ物を引いてくる様子を見る(キャリア⑦)。 ○楽しい宴の歌を歌う。	・ばあさま役の教職員が、読み聞かせの台詞を用いて言葉掛けしながら笠を手渡す。 ・児童の「いきます」の表現を待ち、「いってらっしゃい」と返す。 ・児童の肘や手首の動きを支援し「かぶせる」と言葉掛けする。 ・タオルやスタイを貸してくれる児童を募り、児童の反応を待つ。 ・読み聞かせの台詞と効果音を使いながら、地蔵役の教職員が登場する。 ・楽しい雰囲気の手拍子を促す。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・今日の学習のフィードバック ○挨拶	・本時の活動を思い出せるように、実際に使った教材で振り返る。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・ 教室(家)→展示スペース(外・町)→教室(家)と移動して活動することで、場面の変化に気付きやすくする。
- ・ 児童が操作する笠は、児童が一人で持つことのできるサイズにする。
- ・ 児童と同じ数の地蔵を設置しておく。
- ・ 笠をかぶせる活動の後、食べ物の乗ったそりを引いて、地蔵に扮した教職員が登場する。

小学部5Aグループ 自立活動を主とする教育課程「三びきのやぎのがらがらどん」

絵本
解説

ねらい

- ・絵本を読みながら、次の展開に期待したり、展開が変わる時に注意を向けたりできる。
- ・劇遊びの中で、声や身体の動きで友達とやり取りをする。

教材



(作: マーシャ・ブラウン)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

- 聞く(2~18)、話す(2~18)
- 読む(2~24)、書く(2~24)
- 数と計算(2~18)
- 量と測定(4~12)
- 図形(4~36)

『学習指導要領の内容』

- 国語: 小一段階
 - 知技「ア(ア、イ)・イ(ア)」
 - 思判表「アイ・ア及びエ」
- 数学: 小一段階
 - 知技「AA(イ)㊦」
 - 思判表「CA(イ)㊦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	・活動は視覚提示を行う。
展開①	○ペープサート「三びきのやぎのがらがらどん」を観る。 ・やぎの数を数えて数字カードを貼る。 ・大きいやぎのペープを選ぶ。	・やぎの大きさの違いを、セリフの声色や登場時の効果音を変えて分かりやすくする。
展開②	○物語に即したやり取り遊びをする。 ・大きいやぎを演じ、トルルとセリフのやり取りをしたり、トルル人形を倒す。 キャリア教育①⑦	・やり取りは、声を出しやすいうように「(おれ)だー」など一音を言うように設定し、セリフの始めを教員が言って誘導する。 ・トルル人形は児童の実態によって、押す、引っ張るなどの動きで倒す。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・良かったところのフィードバック ○挨拶	・本時の活動を思い出せるように、実際に使った教材で振り返る。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



・トルル人形を倒す際に、児童の実態によって、引っ張る、押すなどが出来るようにひもを付けたたり、箱を積み上げた形状のものにした。

・「大きい」やぎを選ぶ課題の時に、大中小のやぎのペープサーとを貼り、比較して選びやすくした。

・楽器の音が、それぞれ、大中小のやぎ、トルルのイメージを喚起しやすいような効果音を設定した。

小学部5年 自立活動を主とする教育課程 「3びきのくま」

絵本
解説

教材

ねらい

- 絵本の世界感を味わう。
- 大きい、小さいを体感し、違いに気付く。
- 3までの数唱に慣れる。
- ものが増えていくこと、ものがなくなっていくことに気付く。



(作:いもとよこ)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
 聞く(1~8)、話す(1~8)
 読む(1~4)、書く(1~6)
 数と計算(2~4)
 量と測定(2~4)
 図形(2~4)

『学習指導要領の内容』

国語: 小一段階

○知技「ア7(ア)イ イイ(イ)エ」

○思判表「A7,イ・C7,エ」

算数: 小一段階

○知技「A7(ア)ア①, B7(ア)ア②③, C7(ア)ア④」

○思判表「A7(イ)ア, A1(イ)ア, C7(イ)ア」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	授業内容を思い出せるよう、絵本の表紙を見せる。
展開	(1)「あいうえお」のペープサートを活用して言葉の学習をする。 (2)絵本の読み聞かせを見る。 (3)大きい椅子と小さい椅子のどちらに座りたいか選ぶ。 (4)選んだ方の椅子に座る。 (5)「大きい・小さい」を考える。 (6)3までの数唱をする	(1)あいうえおの仮名と口の動きが書かれた教材を使用する。 (2)スライドが見やすいよう、位置や照明の調節をする。声のトーンにも大小を付ける。 (3)椅子の紹介では、どちらが大きい小さいを言わないようにする。 (4)安全面に注意し、二人介助で行う。椅子に付ける布はしっかりと固定する。 (5)大きい・小さい椅子を体験して比較し、具体物の大小を考える。 (6)カードやボールを活用して数唱と物の増減に気付く。
まとめ	○本時の活動を振り返る。 ○終わりの挨拶をする。	使った教材の中から楽しかった活動を選ぶ。

活動の教材と使い方

絵本
解説

活動
解説



(1)「あいうえお」のペープサートを活用して言葉の学習をする。

(2)絵本の読み聞かせを見る。



(3)大きい椅子と小さい椅子のどちらに座りたいか選ぶ。



(4)選んだ方の椅子に座る。



(5)「大きい・小さい」を考える。

(6)3までの数唱をする

小学部6年 自立活動を主とする教育課程「せとうちたいこさん デパートいきタイ」

絵本
解説

ねらい

- ・歌や効果音を手掛かりに場面展開に気付き、楽しんで見たり聞いたりする。
- ・発声や口の動きなどの自分なりの方法で、店員役の教員とやり取りをすることができる。

教材



絵・作：長野ヒデ子
出版社：1995年 童心社

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

- 聞く(2～12)、話す(2～8)
- 読む(2～12)、書く(2～12)
- 数と計算(2～8)
- 量と測定(2～12)
- 図形(2～12)

『学習指導要領の内容』

- 国語：小一段階
- 知技「ア(ア)・イ(イ)」
 - 思判表「Aアイ・Cア及びエ」
- 算数：小一段階
- 知技「Aア(ア)㊦・(イ)㊦」
 - 思判表「Aア(イ)㊦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	・教科の色布を提示し、注目を促す。
展開①	○読み聞かせ「デパートいきタイ」 ・教職員劇を見る。 ・店員とのやり取りの流れを理解する。 ・物語を振り返り、登場人物やキーワードを確認する。 【キーワード】帽子、りんご、「〇〇をください」「(どうも)ありがとう」	・児童の反応を見て、適宜やり取りをしながら読み聞かせを進める。 ・キーワードを繰り返し、はっきりと伝える。
展開②	○物語に即した活動 ・子タイになり、たいこさんから頼まれた品物を買うに行く。 ・店員役の教員に対し、「ください」や「ありがとう」の言葉をタイミングよく伝える。 ・買った品物をたいこさんに渡す。	・子タイのペープサートを児童の車いすに付ける。 ・やり取りの際に、「〇〇を」や「どうも」などの枕詞を教職員が言い、それに続けて言うように促す。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動の確認 ○挨拶	・絵本や使った教材を見せ、場面想起をしやすくする。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・登場キャラクターは立体の物を提示し、大きく動かして注目を促す。
- ・児童の車いすにどっちもクリップで「子タイ」を付け、物語との関連性をもたせる。
- ・活動で買う物は、物語中に出てきた物とし、写真カードと実物(模型)を交換してやり取りを行う。

小学部6年 自立活動を主とする教育課程 「デパートいきタイ」

絵本
解説

教材

ねらい

- ・読み聞かせてパネルなどに注目し、言葉や効果音を聞いて、物語の展開への期待感を発声や表情等で表現する。
- ・キーワードとなる「ください」、「ありがとう」という言葉を発声やサイン等で表現し、買い物のやり取りを行う。



絵・作：長野ヒデ子
出版社：1995年 童心社

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
聞く(4~18)、話す(4~12)
読む(4~18)、書く(2~12)
数と計算(4~12)
量と測定(2~12)
図形(4~12)

『学習指導要領の内容』

国語：小一段階

- 知技「ア(ア)・イ・イ(エ)」
- 思判表「Aア・イ・Cエ」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	・サインで表現しながら挨拶を行う。
展開①	○読み聞かせ「デパートいきタイ」(パネルシアター劇)	・繰り返されるフレーズをゆっくりと強調する。効果音を活用し、実物などを提示しながら行う。
展開②	「買い物をしよう」 お客さん役になり、たいこさんに頼まれた果物を買う。買った果物をたいこさんに届ける。 ○買い物カードで買うものを確認する。 ○「ください」、「ありがとう」という言葉をサイン等で表現し、店員役の教職員とやり取りをして果物を買う。(キャリア①、②、⑥) ○果物を届け、「どういたしまして」という言葉をお辞儀などの動作で表現する。	・予め指定された果物を買うように設定する。 ・やり取りの始めに、店員役の「いらっしやいませ」という言葉を言い、店員に気付いてから行うようにする。 ・児童の実態に応じて、2種類の果物を提示し、見比べる活動を行う。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動の確認 ○挨拶	・たいこさんからのお礼を聞き、活動の終わりを意識できるようにする。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・読み聞かせはたいこさんの模型を使い、パネルシアター劇を行う。
- ・果物の買い物では、見た目が実物に近い模型を扱う。
- ・児童が買う果物を確認できるよう、買い物カードを準備し、配布する。

小学部6年 自立活動を主とする教育課程 「デパートいきタイ」

- ねらい ・3までの数で具体物を操作する。
- ・登場人物に注目し、物語を楽しむ。

絵本
解説

教材



絵・作:長野ヒデ子
出版社:1995年 童心社
【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
聞く(1～8)、話す(1～8)
読む(1～8)、書く(1～8)
数と計算(1～8)
量と測定(1～8)
図形(1～8)

『学習指導要領の内容』
国語:小一段階
○知技「ア(ア)・イ(ア)」
○思判表「アイ・Cア及びエ」
算数:小一段階
○知技「Aア(ア)㊦」
○思判表「Aア(イ)㊦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶、今日の活動の確認 ○発声「あいうえお」の歌 ○アプリ「あいうえおにぎり」	・モニター画面で映像を流し、顔を上げる。 ・個別に分かれての学習
展開①	○読み聞かせ「デパートいきタイ」	・「～タイ」をリズムよく言い、強調する。 ・ズーム機能を使い登場人物を強調する。
展開②	○活動「3までの数の操作」 ・トレイに置かれた具体物を小皿に分け、3までの具体物を操作する。 ・三つの具体物を使って1から3を数える。	・2グループに分かれる。 ・地が黒いトレイを用いて具体物を見やすくする。 ・落とすと音が鳴るように筒や具体物に気を付ける。
まとめ	○本時の活動を振り返る ○挨拶	・具体物を提示しながら、今日やったことを確認する。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



・具体物を落とすと「ぽとん」と音が鳴り、操作の結果を実感しやすくする。



・手前黒皿の具体物を奥の白皿に一つずつ移す。
・皿をマジックテープで貼り付け、枚数を変更できるようにする。

小学部6年 自立活動を主とする教育課程「デパートいきタイ」

絵本
解説

ねらい・読み聞かせを落ち着いて見聞きし、物語の展開への期待感を発声や表情等で表現する。

・複数の選択肢の中から、買う果物を選択買い物のやり取り・見通しをもち意欲的に取り組む。

教材



絵・作：長野ヒデ子
出版社：1995年 童心社

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

聞く(2~48)、話す(2~12)
読む(2~24)、書く(4~24)
数と計算(4~18)
量と測定(4~12)
図形(4~24)

『学習指導要領の内容』

国語：小一段階

○知技「ア(ア)・(イ)・イ(エ)」
○思判表「Aア・イ・Cア・イ・エ」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶・始まり歌 ○今日の活動の確認	・サインで表現しながら挨拶を行う。 ・曲調の明るい歌を用いる。
展開①	○読み聞かせ「デパートいきタイ」(大型テレビで絵本の映像を見ながら聞く。)	・「～タイ」をリズムよく言い、強調する。抑揚を付けながら読む。
展開②	「買い物しよう」 お客さん役になり、たいこさんに頼まれた果物を買う。買った果物をたいこさんに届ける。 ○果物カードを手渡して買うものを伝える。 ○複数の選択肢の中から、買う果物を選択する。店員役の教職員とやり取りをして果物を買う。 ○買い物の一連の流れを体験し、理解を促す。	・予め指定された果物を買うように設定する。 ・やり取りの始めに、「果物屋さんだよ」という言葉を繰り返し、店員の存在に気付いてから行う。 ・児童の実態に応じて、一つ物をつかんだり、2種類の物を見比べて選び取る活動を行う。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動の確認 ○挨拶	・一人一人評価を行い、達成感を味わいやすいようにする。

活動の教材と使い方

絵本
解説

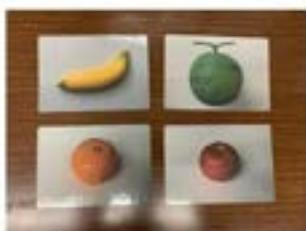
活動
解説



- ・読み聞かせは、大型テレビや「たいこさん」の模型を使いながら行う。



- ・果物の買い物では、実物に近い模型を用いる。



- ・児童が果物を確認し、買う物を伝えられるように果物カードを用いる。

小学部6年 自立活動を主とする教育課程「きたかぜとたいよう」

絵本
解説

ねらい

- ・効果音を手掛かりに場面展開に気付き、登場人物に注目して見たり聞いたりする。
- ・課題を理解し、それぞれの方法で解決することができる。

教材



作: 蜂飼耳 絵: 山福朱実
出版社: 2011年 岩崎書店

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
聞く(2~12)、話す(2~8)
読む(2~12)、書く(2~12)
数と計算(2~8)
量と測定(2~12)
図形(2~12)

『学習指導要領の内容』
国語: 小一段階
○知技「ア(ア)・イ(ア)」
○思判表「Aアイ・Cア及びエ」
算数: 小一段階
○知技「Aア(ア)の(イ)の」
○思判表「Aア(イ)の」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	・教科の色布を提示し、注目を促す。
展開①	○読み聞かせ「きたかぜとたいよう」 ・教職員劇を見る。 ・物語を振り返り、登場キャラクターや内容を確認する。 【キャラクター】きたかぜ、たいよう、旅人	・キャラクターが登場する前に効果音を鳴らし、気付きを促す。 ・特徴を言語化して伝え、イメージをもたせる。
展開②	○物語に即した活動「劇遊び」 ・劇の発表チームと、課題チームに分かれる。 【発表チーム】やりたい役を選び、簡単なセリフを含めて劇の発表を行う。 【課題チーム】物語に関連した課題に取り組む。劇の発表を見る。	・授業ごとにチームを変え、両方のチームを経験させる。 ・発表チームが配役を決めている時に、課題チームは個々の課題に取り組みさせる。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動の確認 ○挨拶	・絵本や使った教材を見せ、場面想起をしやすくする。

絵本
解説

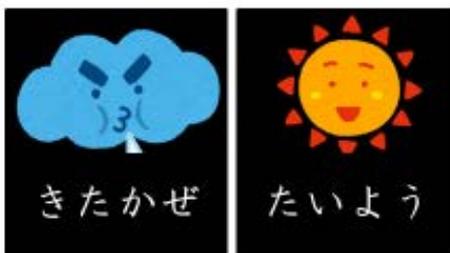
活動
解説

活動の教材と使い方



・発表チーム

「うごきんぐ」というリレースイッチを使い、児童が自分でスイッチを押すことで風が吹いたりライトが光ったりする。



・課題チーム

個々の実態に合わせて、絵カードのマッチングや型はめなどの課題を用意する。

小学部6年 自立活動を主とする教育課程「きたかぜとたいよう」

絵本
解説

ねらい

- ・言葉のイメージに合わせて体を動かしたり、タイミングに合わせて声を出したりすることができる。
- ・風に吹かれたり、光を浴びたりして、話の流れに触れながら理解を深めることができる。

教材



(蜂飼耳/文 山福実実/絵
2011年 岩崎書店)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
聞く(4~18)、話す(4~12)
読む(4~18)、書く(2~12)
数と計算(4~12)
量と測定(2~12)
図形(4~12)

『学習指導要領の内容』

国語:小一段階
○知技「ア(ア)(イ)・イ(イ)」
○思判表「Aアイ・ア及びエ」
数学:小一段階
○知技「Aア(ア)の①」
○思判表「Aア(イ)の①」

	学習活動	手だて/留意点
導入	○挨拶 ○学習内容の確認	・活動は視覚的に提示する。
展開①	○絵本「きたかぜとたいよう」を読む ・モニターに大きく映して、全員で見るようにする。	・教員の朗読は、その場の児童の集中力に合わせて、抑揚や間を調整して読む。
展開②	○北風に吹かれる活動 ・自作したマントを羽織る。(キャリア⑧⑩) ・スイッチで北風を吹かせる北風役と、風を浴びる旅人役に分かれる。旅人はマントを抑える。 ○太陽の光を浴びる活動 ・スイッチで白熱灯を照らす太陽役と、光を浴びる旅人役に分かれる。旅人役は手をかざして暖かさを実感する。	・工場扇という強力な扇風機を北風に見立ててスイッチで動かせるようにする。 ・マントは好きな色のビニルで予め児童が自作したものを使う。 ・白熱灯を使い、太陽の光と暖かさを感じられるようにする。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動を思い出す。 ○挨拶	・本時の活動を思い出せるように、実際に使った教材で振り返る。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・北風はスイッチで動かせるようにした。また、風を受ける児童はビニルのマントを飛ばないように抑える動作を促す。



- ・太陽もスイッチで動かせるようにした。ライトは白熱灯を用いてそこに目の粗い布をかぶせた。手をかざすとほのかに暖かさを感じられる。

小学部6年 自立活動を主とする教育課程「きたかぜとたいよう」

絵本
解説

- ねらい ・効果音を手掛かりに登場人物に視線を向け、教員劇を見聞きする。
 ・次の展開を期待しながら、台詞を発声や身振りで表現したり具体物を操作したりする。
 ・諸感覚を働かせたり身体を動かしたりして、物語に出てくる言葉のイメージをもつ。

教材



(作: 蜂飼耳 絵: 山福朱実 2011年 岩崎書店)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

- 聞く(4~18)、話す(4~18)
- 読む(6~24)、書く(2~12)
- 数と計算(4~18)
- 量と測定(4~12)
- 図形(4~12)

『学習指導要領の内容』

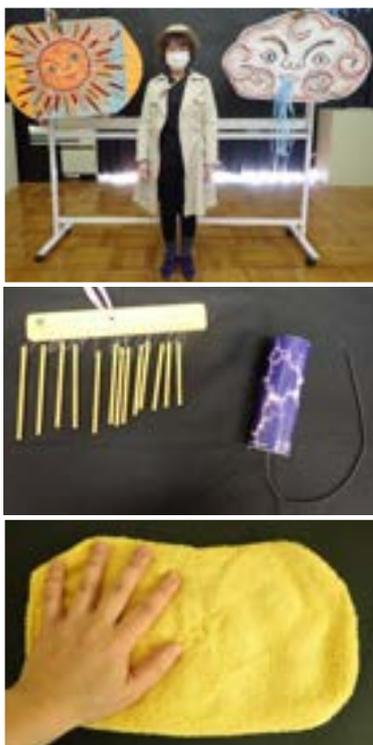
- 国語: 小一段階
- 知技「ア(イ)・イ(ア)」
 - 思判表「Aア・Cエ」
- 数学: 小一段階
- 知技「Aア(ア)㊦」
 - 思判表「Aア(イ)㊦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	・サインを用いて挨拶をする。 ・簡潔な言葉で、活動を説明する。
展開①	○教員劇「きたかぜとたいよう」を見聞きする。 ・風を身体で感じる。 ・「ぽかぽか」(温めた小豆の入った袋)に触れ温かさを感じる。	・北風と太陽が登場する時に楽器を鳴らす。 ・旅人は、台詞に合わせて身振りをを行う。
展開②	○「北風」の活動 ・「きたかぜ ひゅーひゅー」もつと強く「きたかぜ ひゅーひゅー」の台詞と共に、両手で団扇を動かしたり、身振りをしたり、発声をしたりして旅人に向かって、風を送る。 ・旅人に注目する→帽子が飛ぶ・コートは脱がぬい ○「太陽」の活動 ・「ぽかぽか」(温めた小豆の入った玉)に手を伸ばして、取る。温かさを感じた後、旅人役の教職員に渡す。 ・旅人に注目する→「暖かい」・コートを脱ぐ	・物語の展開に見通しをもつことができるように、教員劇の台詞や展開と同じ流れで活動させる。 ・台詞に合わせて身体を介助したり傍で表現を促したりする。 ・児童が展開を理解できるように、旅人役の教職員は、児童が視線を向けていることを確認しながら、帽子を飛ばしたりコートを手放したりする。
まとめ	○TVで絵本「きたかぜとたいよう」の読み聞かせを見聞きする。 ○挨拶	・北風と太陽が登場する場面で楽器を鳴らす。 ・サインを用いて挨拶をする。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・教員劇には、「きたかぜ」と「たいよう」のパネルと旅人役の教職員が登場する。
- ・「きたかぜ」登場時には「サンダードラム」、「たいよう」登場時には「ツリーチャイム」を鳴らし登場人物への注目を促す。
- ・教員劇中に、「きたかぜ」のパネルで児童をあおぎ、風を感じられるようにする。「ぽかぽか」の言葉に合わせて温めた小豆の入った袋に触れられるようにする。

活動の教材と使い方



・「きたかぜ」の活動では、児童が北風の団扇を両手で持って教職員と一緒に身体を動かしたり、身振りをしたり発声をしたりして表現できるようにする。



・「たいよう」の活動では、太陽のパネルから吊るされている「ぽかぽか(温めた小豆の入った玉)」に手を伸ばして取り、温かさを感じた後、旅人に渡すことができるようにする。

小学部6年 自立活動を主とする教育課程「北風と太陽」

ねらい ・効果音を手掛かりに登場人物に視線を向け、教員劇を見聞きする。
 ・「寒い」「暑い」等の言葉について体験しながら知ることができる。

絵本
解説

教材



(作: 蜂飼耳 絵: 山福朱実 2011年 岩崎書店)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
 聞く(1~8)、話す(1~8)
 読む(1~8)、書く(1~8)
 数と計算(1~8)
 量と測定(1~8)
 図形(1~8)

『学習指導要領の内容』
 国語: 小一段階
 ○知技「ア・ア(イ)」
 ○思判表「c・エ」
 算数: 小一段階
 ○知技「cア(ア)④」
 ○思判表「cア(イ)④」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	・順序立てて伝えて、見通しをもてるようにする。
展開①	○教員劇「北風と太陽」 ○ロールプレイ ・中庭や廊下に出て「寒い」を感じてマフラーを着る。 ・暖房の効いた部屋に入り「暑い」を感じて上着を脱ぐ。	・サンダードラムやツリーチャイムを用いて効果音を付ける。 ・「寒い」「暑い」が印象付くように繰り返し伝えながら活動を行う。
展開②	○活動 【G1】 ・太陽と雲の好きな方を選び、それによって起こる反応を楽しむ。 【G2】 ・大きさの異なる太陽と雲のブロックを仲間分けする。	・2グループに分かれる。 ・最初に選ぶ絵カードは触るとザラザラの太陽、ふわふわ綿の雲と感触を工夫している。 ・入れたことが分かりやすく音の出る容器とブロックを用いる。
まとめ	○本時の活動を振り返る ○挨拶	・具体物を提示しながら、今日やったことを確認する。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



・太陽は紙やすり、雲は綿、雨はセロハンでできており、振るとシャカシャカ鳴る。選んだ絵カードに応じて温めたり、風が吹いたり、水を浴びたりする活動を行う。



・大きさの異なるブロックを同じ柄のところに仕分けしていく。

小学部6年 自立活動を主とする教育課程 「めっきらもつきらどおんどん」

絵本
解説

ねらい

- ・読み聞かせの劇で、歌や言葉、効果音を聞き、物語の展開への期待感を発声や表情等で表現する。
- ・遊びたいお化けを選び、やり取りで「おーい」、「遊ぼう」という言葉を発声やサイン等で表現し、呼び掛ける。

教材



(作:長谷川摂子・画:ふりや なな
1985年 福音館書店)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

- 聞く(4~18)、話す(4~12)
- 読む(4~18)、書く(2~12)
- 数と計算(4~12)
- 量と測定(2~12)
- 図形(4~12)

『学習指導要領の内容』

国語:小一段階

- 知技「ア(ア)・(イ)・イ(エ)」
- 思判表「Aア・イ・エ」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	・活動を視覚的に提示する。
展開①	○読み聞かせ「めっきらもつきらどおんどん」(教員劇) ○登場したお化けの確認 ○キーワードの確認	・歌やキーワードを強調する。 ・写真カード、楽器、本人を対応させて確認する。
展開②	「お化けと遊ぼう」 かんだ役になり、「もんもんびやっこ」と「おたからまんちん」から遊びたいお化けを選び、遊びに誘うやり取りをおこなう。前者:縄跳び 後者:お宝交換 ○遊びたいお化けを選ぶ。(キャリア⑩) ○選んだお化けとやり取りをする。(キャリア①) ○お化けと遊ぶ	・写真カードを手の届かない位置に提示し、視線での選択を判断する。 ・やり取りが始まるタイミングを、楽器を鳴らして伝える。 ・見本を見せたり、言葉で伝えたりして、サインや発声等の表出を促す。
まとめ	○本時の活動を振り返る ・取り組んだ活動の確認 ○挨拶	・本時の活動を思い出せるように、実際に使った教材で振り返る。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・読み聞かせは劇を行う。登場人物はかんだ、もんもんびやっこ、おたからまんちんの三人
- ・お化けの選択では写真カードを提示する。
- ・縄跳びはゴロバンを使用し行う。お宝交換は児童がベル、お化けがお菓子の模型を差し出して行う。

小学部6年 自立活動を主とする教育課程「めっきらもつきらどおんどん」

ねらい・効果音を手掛かりに、TVやタブレットの挿絵に視線を向けて、読み聞かせを見聞かせる。

・やりたい活動を選択し、教職員に伝えることができる。

・次の展開や遊びを期待して、物語に出てくる歌や合言葉を表現することができる。

絵本
解説

教材



(作:長谷川勝子 絵:ふりやなな
1990年 福音館書店)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』

聞く(4~18)、話す(4~18)
読む(6~24)、書く(2~12)
数と計算(4~18)
量と測定(4~12)
図形(4~12)

『学習指導要領の内容』

国語:小一段階

○知技「ア(ア)イ・イ(イ
ア)」

○思判表「A・Bア」

数学:小一段階

○知技「Bア(ア)Bア(ア)」

	学習活動	手だて/留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	・サインを用いて挨拶をする。 ・簡潔な言葉で、活動を説明する。
展開①	○絵本「めっきらもつきらどおんどん」の読み聞かせをする。	・テレビ画面で効果音付きのスライドショーを映す。児童の実態に応じて手元でタブレット端末を見せる。
展開②	○物語に出てきたかみたの歌を歌う。 ○二つの遊びを知り、見本を見る。 ○やりたい遊びをカードや具体物で選び、指差しや表情で伝える。 ○合言葉を発声、動作、スイッチ、表情で表現して遊びを体験する。 ☆ふろしき はたはた 風呂敷遊び ☆かみのけ さらさら かみのけパネル ○おもちのなる木からおもちを三つ取って食べるまねをする。	・リズムを付けて回帰型唱歌。 ・児童の実態に応じた方法で選定させ、選んだらすぐに活動できるようにする。 ・児童が「ふろしき はたはた」「かみのけさらさら」の合言葉を表現したら、「ももんがー」の掛け声で遊びを始まり「いち・にのさん」で終わる。 ・パネルを提示し手元でおもちを取れるようにする。 ・おもちがなくなったことを意識できるようにする。
まとめ	○今日の活動を振り返る。 ○挨拶	・活動中に使用した具体物を提示して、尋ねる。 ・サインを用いて挨拶をする。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



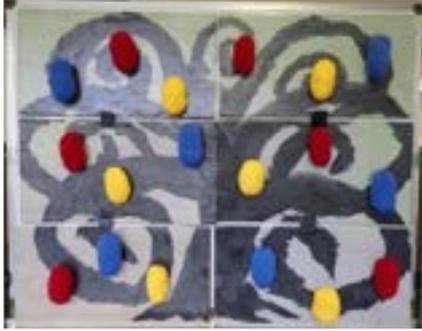
・しっかかもっかかのパネルが登場する。

・「ふろしき はたはた」と合言葉を表現すると「ももんがー」の掛け声とともに大布遊びが始まり「いち・にのさん」で終わる。



・「かみのけさらさら」と合言葉を表現すると「ももんがー」の掛け声とともにトンネルを駆け抜け「いち・にのさん」で終わる。

活動の教材と使い方



- おもちが「たくさん」のおもちのなる木を見せる。それぞれの児童が手元でおもちをとって食べたり、一つずつ皿に分けたりして活動する。その後、おもちが「ない」木を見せて、「食べた」ことを意識できるようにする。



小学部6年 自立活動を主とする教育課程 「めっきらもつきらどおんどん」

絵本
解説

教材

ねらい

- ・長い棒、短い棒の二択から一つを選択することができる。
- ・3までの数量が分かる。
- ・文字に興味をもつ。



作・絵:さいとうしのぶ
出版社:ひさかたチャイルド

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
聞く(1~8)、話す(1~8)
読む(1~8)、書く(1~8)
数と計算(1~8)
量と測定(1~8)
図形(1~8)

『学習指導要領の内容』

国語:小一段階
○知技「ア(ア)(イ)・イ(ア)」
○思判表「Aウ・Bイ・Cア及び
エ」
算数:小一段階
○知技「Aア(ア)㊦」
○思判表「Aア(イ)㊦」

	学習活動	手だて/留意点
導入	○挨拶、今日の活動の確認 ○「あいうえお」の歌 ○アプリ「たのしいひらがな/あいうえおにぎり」	・タブレット端末を使ってモニターに音楽と映像を流す。 ・タブレット端末でアプリ学習。
展開①	○「めっきらもつきらどおんどん」読み聞かせ	・児童の見やすい位置にTVを用意する。
展開②	○活動「おたから片付け/リンゴを数えよう」 ・ゴルフボールを紙コップに押し込み、キャップに乗せる。 ・リンゴの絵を付けたマグネットを、掛け声に合わせて取ったり、付けたりする。 ○活動「リンゴを取ろう」 ・長い棒、又は短い棒を使って、壁に付いているリンゴを取る。	・実態に応じて2グループに分ける。 ・ゴルフボールが穴に落ちると、「トン」と音がするようにする。 ・リンゴマグネットは握りやすいように大きめのマグネットを使用した。 ・長い短いの違いを、児童の手を動かして棒に触れさせる。
まとめ	○挨拶	・話の流れを確認しながら活動の振り返りができるようにする。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・長い/短い棒。児童が手で棒の端から端を伝うことで長短に気付く。この際、棒自体は動かさないようにする。
- ・リンゴマグネット。
壁につけて、リンゴのなる木を表現。棒を使って収穫活動をする。

小学部6年 自立活動を主とする教育課程 「めっきらもつきらどおんどん」

絵本
解説

- ねらい・物語に興味をもち、絵本に注目する。
 ・3までの数量に慣れる。
 ・平仮名を発声する。

教材



作・絵:さいとうしのぶ
 出版社:ひさかたチャイルド

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
 聞く(1~8)、話す(1~8)
 読む(1~8)、書く(1~8)
 数と計算(1~8)
 量と測定(1~8)
 図形(1~8)

『学習指導要領の内容』

国語:小一段階
 ○知技「ア(ア)(イ)・イ(ア)」
 ○思判表「Aウ・Bイ・Cア及びエ」
 算数:小一段階
 ○知技「Aア(ア)㊦」
 ○思判表「Aア(イ)㊦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶、今日の活動の確認 ○「あいうえうたおう」の歌 ○「あ」「い」「う」「え」「お」の口形と発声の練習	・タブレット端末を使ってモニターに音楽と映像を流す。
展開①	○「めっきらもつきらどおんどん」読み聞かせ	・大型絵本を児童に見やすい位置で行う。必要に応じて絵本を動かす。
展開②	○活動「お宝ゲット! / お宝ボールを数えよう」 ・お宝のキラキラボールを手で押したり、指に引っ掛けて運んだりして枠の中に入れる。 ・三つ枠にキラキラボールを入れたら、「1、2、3」とボールの数を教員と一緒に数える。 ・数えた後、カラフルに光る電球を鑑賞する。	・枠はキラキラボールが丁度収まる大きさにする。 ・指に引っ掛けられる児童は、輪を広げて引っ掛けやすくする。 ・手で押す児童は、小さなバットの中に入れ、手をスライドさせると枠に入るように補助する。
まとめ	○挨拶	・話の流れを確認しながら活動の振り返りができるようにする。

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・枠はキラキラボールが丁度収まる大きさにする。
- ・指に引っ掛けられる児童は、輪を広げて引っ掛けやすくする。
- ・手で押す児童は、小さなバットの中に入れ、手をスライドさせると枠に入るように補助する。
- ・鑑賞は、BGMを入れて終わりを分かりやすくする。

小学部6年 自立活動を主とする教育課程 「せっけんつけてぶくぶくわー」

ねらい ・諸感覚を働かせて、物語に出てくる言葉のイメージに触れながら、読み聞かせを見聞きすることができる。
 ・洗濯する動きを通して、擬音のイメージをもったり、それを表したりする。
 ・風が吹くことを期待してスイッチを押す。 ・「大きい」と「小さい」が分かり、具体物を選ぶ。

絵本
解説

教材



(文: 岸田衿子 絵: 山脇百合子
1999年 福音館)

【実態と指導内容】

『学習到達度チェックリスト』
 聞く(4~18)、話す(4~18)
 読む(6~24)、書く(2~12)
 数と計算(4~18)
 量と測定(4~12)
 図形(4~12)

『学習指導要領の内容』
 国語: 小一段階
 ○知技「ア(イ)・イ(イ)(エ)」
 ○思判表「Aア・Cエ」
 数学: 小一段階
 ○知技「Aア(ア)㊦、Dア(ア)㊦」
 ○思判表「Aア(イ)㊦」

	学習活動	手だて／留意点
導入	○挨拶 ○今日の活動の確認	・サインを用いて挨拶をする。 ・簡潔な言葉で、活動を説明する。
展開①	○絵本「せっけんつけてぶくぶくわー」の読み聞かせをする。	・シャボン玉、効果音、扇風機の風を使用し、物語の言葉のイメージを諸感覚で感じながら見聞きできるようにする。
展開②	○くまさん(大きい)とりすくん(小さい)のシャツを洗濯する活動 ・「ざばざば、ずざー、ぴーん」の擬音に合わせてくまのシャツを洗濯する。 ・「ちゃぽちゃぽ、ちょぽー、ぴーん」の擬音に合わせてりすのシャツを洗濯する。 ・友達の活動に注目する。 ・「かぜかぜ、ふけー」の台詞を表現する。 ・スイッチを押して風を吹かせる。	・最初は、擬音に合わせて教職員と一緒にシャツを操作して、ゆすぎ、しぼる、のぼす操作をする。その後、児童の主体的な動きを待つ。 ・スイッチから手を離して風が止んだ時の児童の反応を待つ。
まとめ	○今日の活動を振り返る。「大きい」「小さい」のクイズをする。 ○挨拶	・活動時に使用した擬音を用いて尋ねる。具体物を使用して、答えられるようにする。 ・サインを用いて挨拶をする。

教材
②へ

絵本
解説

活動
解説

活動の教材と使い方



- ・くまさんのパネルとりすくんのパネルが登場する。
- ・くまさんの洗濯は、大きなタライの中で140cmのシャツを「ざばざば」とゆすぎ「ずざー」と絞る。
- ・りすくんの洗濯は、小さなタライの中で60cmのシャツを「ちゃぽちゃぽ」とゆすぎ、「ちょぽー」と絞る。

活動の教材と使い方

- スイッチを押すと、扇風機が回り、風が吹く。洗濯物が、「ぴらぴら、ぱたぱた」と動くことを期待できるようにする。

